

設置及び使用マニュアル

High Speed Dome Camera (AHD)

V 1.7

**注意**

電気的な衝撃の恐れがあるので開けないでください。



注意：電気的な衝撃の危険を避けるためにカバーを開けるとか任意に製品を分解しないでください。
使用者が自ら交換できるサービス部品は入っていません。
資格のあるサービス要員からサービスを受けてください。



この表示は人に電気的な衝撃を与えることができる程度の危険性の高い高電圧が製品内部に現れるので、このような絶縁されていない高電圧からの危険性を使用者に警告する表示です。



この表示は製品を動作させるとか整備(補修)を行うことにおいて重要な内容であることを使用者にお知らせする表示です。


安全に対する事項

1. **使用マニュアルの熟読**
ご使用になる前に安全に対する事項及び本製品の操作方法をよくお読みになってください。
2. **使用マニュアルの保管**
製品の正しい使用のために使用説明書は大事に保管してください。
3. **付着物**
機器の製造社から推奨されていない付着物は危険をもたらす場合がありますので使わないでください。
4. **設置**
不安定な状態で設置するとか不安定な所に製品を載せておかないでください。製品を落とすと人に重大な傷害を与えるか製品に大きな損傷を与えます。製品とともに販売された固定装置か製造社から推奨された固定装置をお使いください。製品の付着は製造社の設置方法に従って行って、必ず製造社から推奨された部品をお使いになってください。
5. **使用電源**
本製品は定格電源の形式においてのみ動作されます。

使用時のご注意

- **製品の使用**
 - ご使用になる前に結線と電源連結が正しくなっているのか確認してください。
 - 使用中にどのような非正常な状態または異常動作が観測された場合、使用を中止して直ちに供給者にお問い合わせください。
- **取り扱い**
 - 製品を分解しないで、製品の内部の部品は触らないように気を付けてください。
 - 製品の損傷を避けるためにカメラを落とすとか震動及び衝撃を与えないでください。
 - カバーを掃除する時にはカバーに異物が付いたり、きずが生じないように気を付けてください。
- **設置及び保管**
 - 許容される温度の範囲を超える所にはカメラを設置しないでください。
 - 室内用製品の場合には湿気またはほこりが多い所での設置は避けてください。
 - 放射能がある所での設置は避けてください。部品に故障を起こす可能性があります。
 - 強い磁場や電気信号がある所での設置は避けてください。
 - 強い震動が加えられる所での設置は避けてください。

① 概要	
製品のモデル名	5
製品の特徴	6
製品の構成品	9
各部の名称及び機能	11
② 設置	
DIP スイッチの設定	13
天井取り付け型ブラケットを利用した設置	16
壁面取り付け型ブラケットを利用した設置	18
In-Ceiling 型ブラケットを利用した設置	20
表面取り付け型ブラケットを利用した設置	22
結線	23
③ 運転	
設置の確認	27
Preset 及び Pattern 機能の確認	27
OSD メニューの選択	27
特殊機能のプリセット	28
プリセット	29
スイング	29
パターン	30
グループ	31
その他の主な機能	32
メイン画面 OSD の構成	34
④ OSD メニューの機能	
メニューの使い方	35
メインメニュー	35
メイン画面の OSD 表示の設定	36
Privacy Zone Mask の設定	37
Clock の設定	38
カメラモジュールの設定	39
モーションの設定	43
プリセットの設定	45
スイングの設定	47
パターンの設定	48
グループの設定	49
スケジュールの設定	51
パスワードの設定	52
システムの初期化	54
⑤ 製品の仕様	56
寸法図面	60

製品名

GAHP-10S : x10 Indoorタイプ AHD PTZカメラ

GAHP-10SW : x10 Outdoorタイプ AHD PTZカメラ

製品の特徴

□ カメラ映像部の仕様

- CCD センサー : 1/3" Panasonic CMOS イメージセンサー、2 Mega ピクセル
- ズームの倍率 : x10 光学ズーム、 x12 デジタルズーム (10X、10W モデル)
x20 光学ズーム、 x12 デジタルズーム (20X、20W モデル)
x30 光学ズーム、 x12 デジタルズーム (20X、30W モデル)
- Day & Night 機能
- Privacy Mask 機能
- BLC、WDR、HLC 機能
- NR (Noise Reduction) 機能
- 霧補正機能
- 振れ防止機能
- Auto-Focus、Manual Focus以外に Semi-Auto Focus 機能が提供されるので PTZ カメラに相応しい Focus 設定が可能で、OSD メニューを利用して映像部の微細な設定を行うことができます。

□ HD映像(AHD) 及び Composite 映像出力

- HD 映像出力で 1080p 解像度のAHD 出力を支援します。
- HD 映像信号とともに Analog 映像出力(Composite Video)を支援します。(一部のモデルは除外)

□ 力強いパン/チルト機能

- プリセット運転の時、最大500° /秒 (ECモデル) または 360° /秒 (EB/EA/MB/MA/MP モデル)の高速運転が可能です。
- プリセット運転の時、パンとチルトが同時に補間運転されるので早くて自然な画面の確認が可能です。
- ジョグ運転の時、0.05° /秒 の低速運転ができるので願う位置までより精緻な移動が可能です。またズームの倍率によってジョグ運転速度が連動されるので願う位置に容易に移動させることができます。

□ RTC(Real Time Clock) 機能

- リアルタイム時計の設定が可能です。
- ある程度の時間の中に電源が切れても時間の設定を維持します。

□ プリセット及びスイング、グループ、スケジュール設定機能

- 209ヶ所のプリセット位置を指定することができるし、プリセットごとにカメラ映像設定を独立的に指定することができます。この外にもプリセット位置によるラベルを設定することができます。
- 2ヶ所のプリセット位置を繰り返して移動するスイング機能が支援されます。(10 スイング)
- 一定時間の間にジョグ運転をそのまま保存して再実行するパターン機能が支援されます。(8 パターン)
- プリセット/パターン/スイングを組み合わせた40種類の動作を順次に実行するグループ機能が支援されます。(8 グループ)
- 願う位置の映像を Masking 処理する Privacy Mask 機能が提供されます。
- 8種類のスケジュール設定が可能です。特定時間に願うプリセット位置に移動するとか Pattern、Swing、Group 動作を指定することができるし、一定な周期で繰り返し実行が可能です。

□ PTZ 制御

- RS-485 通信、最大 255台までカメラを同時に連結して使うことができます。
- Pelco-D、Pelco-P プロトコル選択可能
- 映像ケーブルのみを利用してカメラを制御する Coaxitron 機能が提供されます。(Pelco-C プロトコル、Hikvision-C プロトコル支援)

□ OSD (On Screen Display) メニュー支援

- OSD メニューを通じて製品の様々な機能を使うことができます。OSD メニュー使用の時、パスワードを指定することができます。
- カメラ ID、パン/チルト位置、時間、方位情報、アラーム入出力、プリセット情報などが画面上に表示されます。
- 多国語 OSD メニューが支援されます。

□ アラーム入出力機能

- 3つのセンサー入力と 1つのリレー出力を使うことができます。
- センサー入力部の回路にフォトカプラ方式を使ったので電氣的なノイズをとり除きます。
- Normal Openまたは Normal Close 方式のセンサーを使うことができるし、電氣的に DC 5~12 Vの出力のセンサーを連結することができます。
- 外部センサーの動作によって願うプリセット位置に移動するとか Pattern、Swing、Group 動作を指定することができます。またセンサー入力から一定時間以後に実行する動作を指定する Post Alarm 機能が提供されます。

□ 特殊プリセットを利用したカメラ設定機能

- OSD メニューを利用しないで、あらかじめ指定された特殊プリセット機能を利用して、映像イメージ設定、OSD 表示設定等を容易に変更することができます。

□ Dual Power Input 支援 (EC モデルに限定)

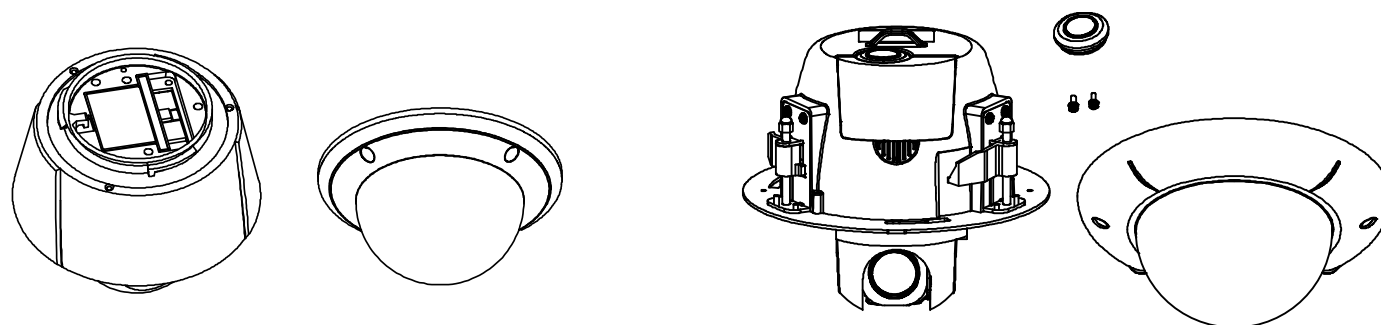
- EC モデルは AC24V または DC12V 電源を使うことができます。
- EB/EA モデルは AC24V 電源を使わなければなりません。
- MB/MA/MP モデルは DC12V 電源を使わなければなりません。

□ 設置の利便性及び耐環境性

- 室外型モデルの場合には低温及び高温環境に備えてファン/ヒーターが内蔵されています。
(オプション事項) また IP67 基準の防水と防塵構造が採択されています。IP67 仕様は壁面取り付け型モデルのみに該当します。
- 設置及びメンテナンスが便利です。

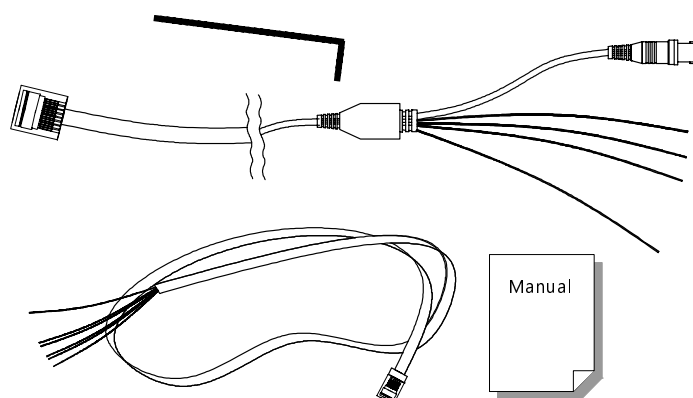
製品の構成 (Outdoorタイプモデル)

□ 基本構成



● 本体及びドームカバー (Wall/Ceiling モデル)

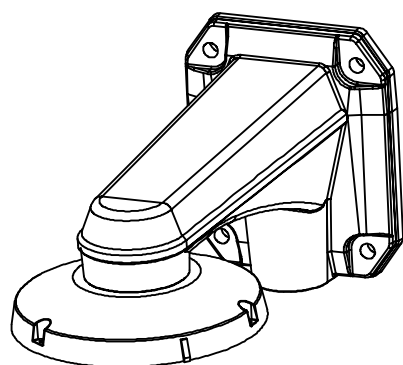
● 本体及びドームカバー (In-Ceiling モデル)



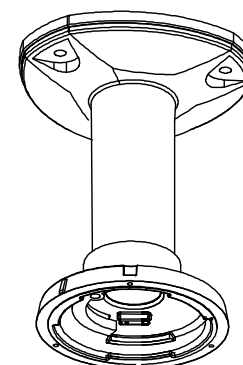
● 基本形アクセサリ

[Main ケーブル、I/O ケーブル、レンチ、使用者マニュアル]

□ 取り付け型ブラケット (オプション品目)



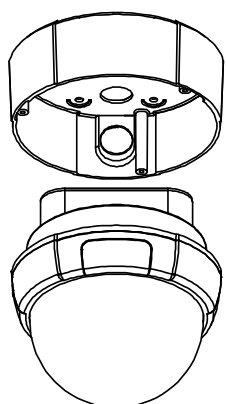
(壁面取り付け型ブラケット
[ねじ類 : TORX Machine M4 (L18、六角頭
#14 (50)]



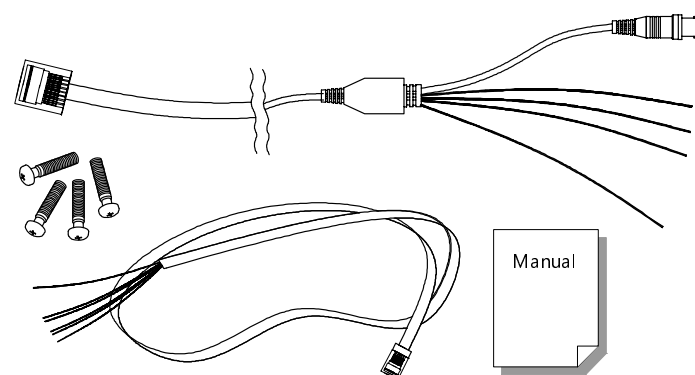
(天井取り付け型ブラケット
[ねじ類 : TORX Machine M4 (L18、Anchor Bolt
3/8" (70)]

製品の構成 (Indoorタイプモデル)

□ 基本構成



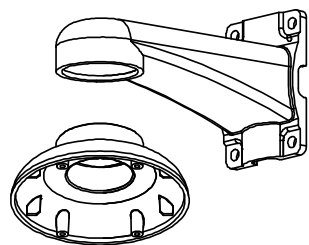
● 本体及び表面取り付け型ブラケット



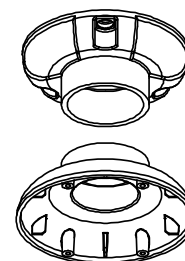
● 基本形アクセサリ

[Main ケーブル、I/O ケーブル、使用者マニュアル
ねじ類：Tapping M4(16、Tapping M4(25、
Machine M3(6、Machine M3(8)]

□ 取り付け型ブラケット (別途オプション品目)

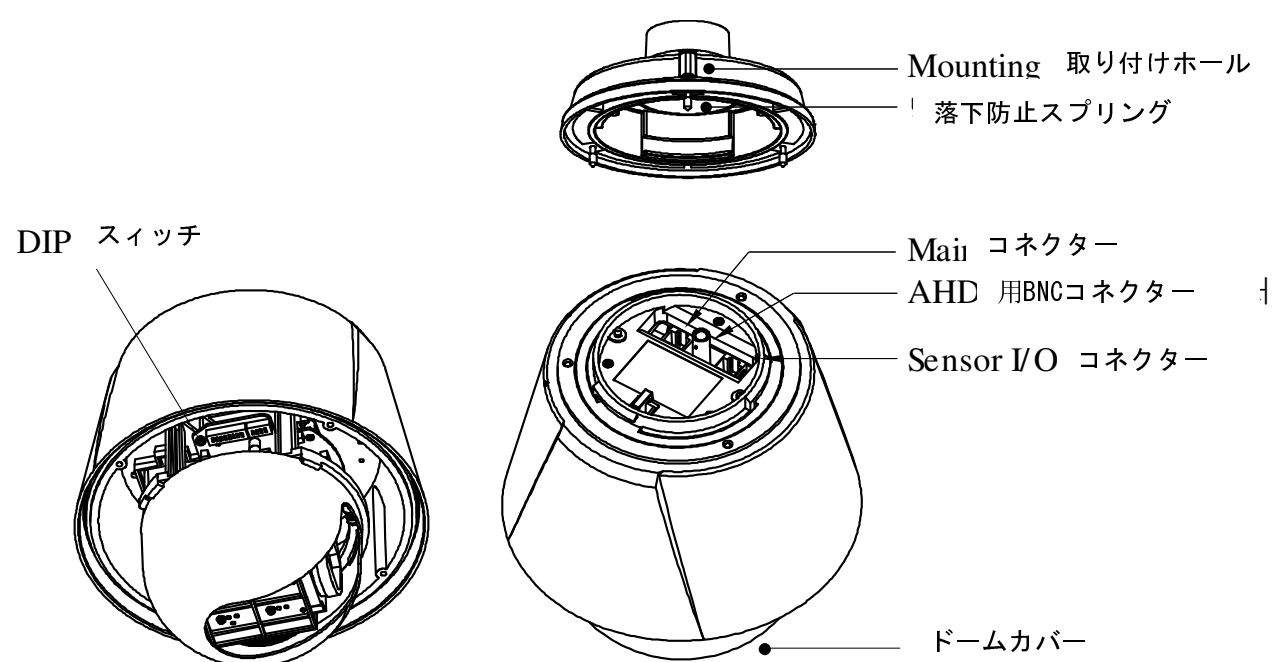


(壁面取り付け型ブラケット
[ねじ類：Machine M3(8、六角頭 #14(50]



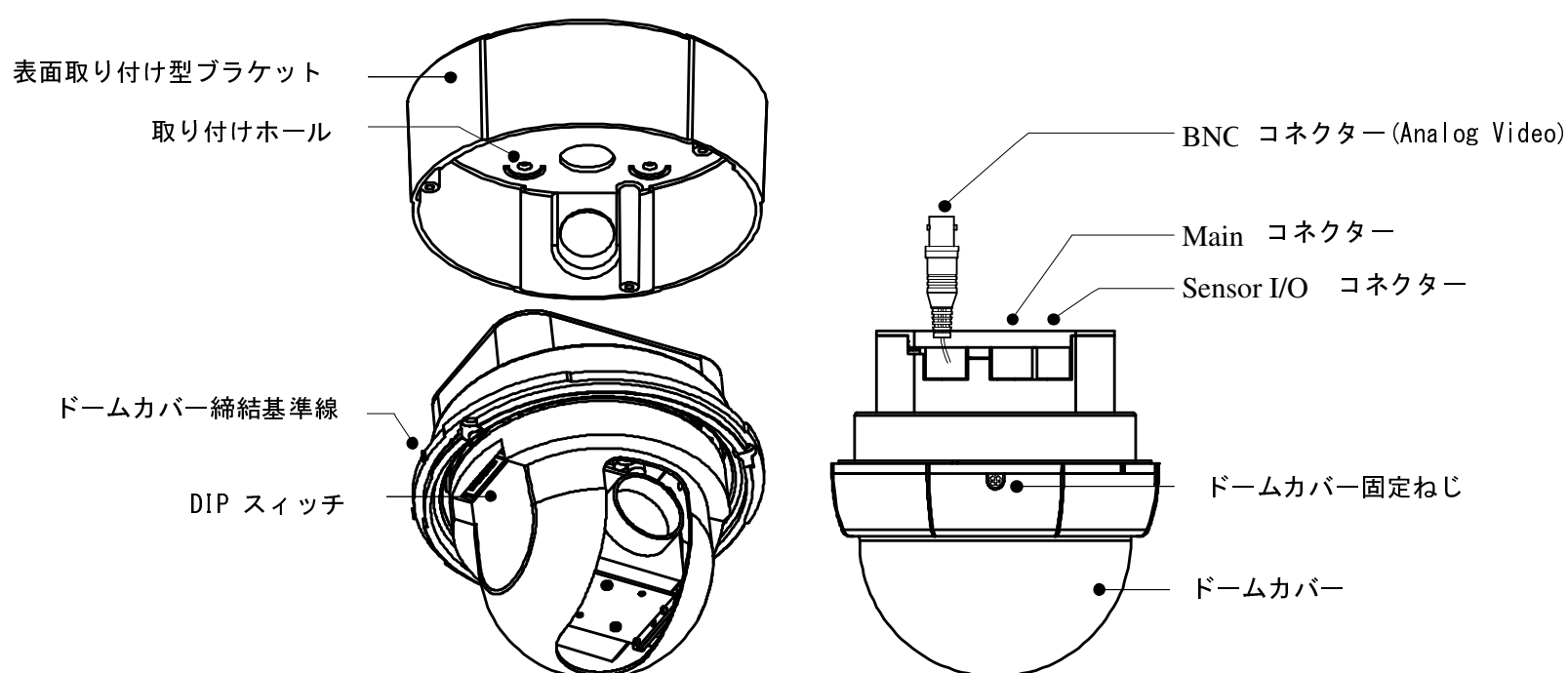
(天井取り付け型ブラケット
[ねじ類：Machine M3(8、Tapping M4(25]

各部の名称及び機能 (Outdoorタイプモデル)



- ドームカバー ドームカバーにキズが付いたり異物が付いた場合、カメラの映像に現れる場合があるので、設置が全部終わる前までドームカバー保護用ビニールをとり除かないでください。
- DIP スイッチ カメラ IDと通信プロトコル等を設定します。
- 落下防止用スプリング 設置の時にカメラ本体が落ちるのを防止します。ブラケットを設置した後、本体をスプリングにかけて作業を行ってください。
- Mount取り付けホール ねじを使用してブラケットを本体に固定する部位です。
- Main コネクター カメラに電源、アナログ映像信号、通信信号を結線します。
- BNC コネクター HD-AHD 映像信号を結線します。
- Sensor I/O コネクター カメラに Sensor I/O 信号を結線します。

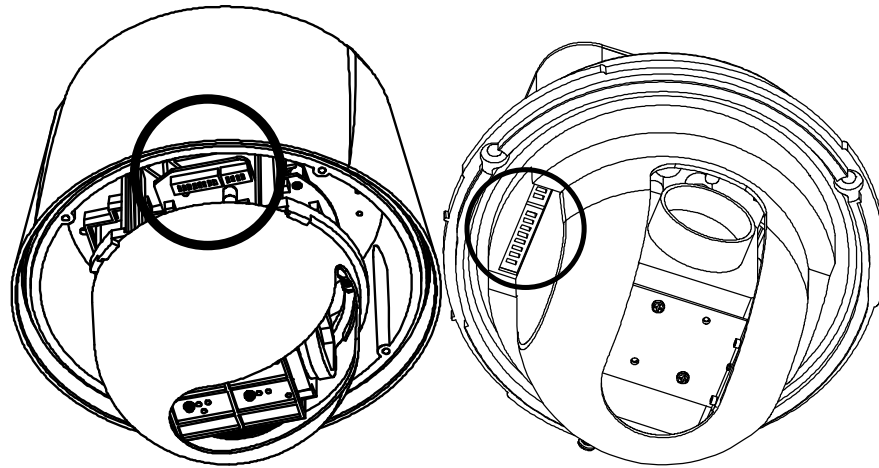
各部の名称及び機能 (Indoorタイプモデル)



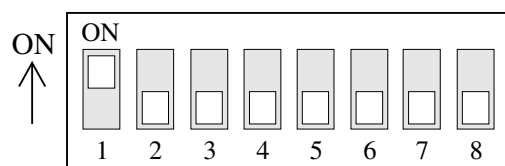
- ドームカバー
ドームカバーにキズが生じたり異物が付いた場合、カメラ映像に現れる場合がありますので、設置が全部終わる前までドームカバー保護用ビニールを取り除かないでください。
- ドームカバー固定ねじ
ドームカバーを本体に回して結合した後、固定する時に使います。
- ドームカバー締結基準線
ドームカバーを回して結合する時に使う基準線です。
- DIP スイッチ
カメラ IDと通信プロトコル等を設定します。
- 表面取り付け型ブラケット
取り付けホール
カメラを天井に直接設置する時に使うとか壁面取り付け型ブラケット、天井取り付け型ブラケットとともに製品を固定する時に使います。室内型製品を天井埋め込み型に設置する場合には使いません。
- Main コネクタ
カメラに電源、HD-AHD 映像信号、通信信号を結線します。
- BNC コネクタ
アナログ映像信号を結線します。
- Sensor I/O コネクタ
カメラに Sensor I/O 信号を結線します。

DIP スwitchの設定

設置の前にドームカバーを開けて、カメラ IDと通信プロトコル設定のための DIP スwitchを設定してください。



□ カメラ ID 設定

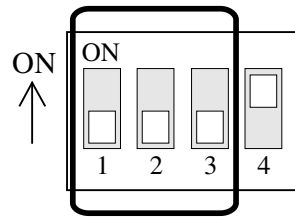


- カメラの IDを 2桁数で設定します。各ピンの設定値は次の通りです。

ピン	1	2	3	4	5	6	7	8
設定値	1	2	4	8	16	32	64	128
ex) ID=5	on	off	on	off	off	off	off	off
ex) ID=10	off	on	off	on	off	off	off	off

- 1~255 まで最大 255個の IDを設定することができます。0番 IDは絶対に使わないでください。
- 出荷の時に設定 IDは 1番です。
- キーボード制御器を連結して運転する時は DIP スwitchで設定した IDと制御器の IDを一致させてください。

□ 通信プロトコルの設定

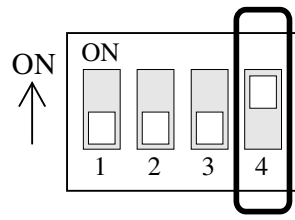


- 次のようにプロトコルを設定してください。

スイッチの状態			プロトコル
P0 (Pin 1)	P1 (Pin 2)	P2 (Pin 3)	
OFF	OFF	OFF	PELCO-D, 2400 bps
ON	OFF	OFF	PELCO-D, 9600 bps
OFF	ON	OFF	PELCO-P, 4800 bps
ON	ON	OFF	PELCO-P, 9600 bps
OFF	ON	ON	HIKVISION-C Coaxitron (TVI モデルだけ支援)
ON	ON	ON	PELCO-C Coaxitron
その他			Reserved

- キーボード制御器や DVRで使うプロトコルと一致させてください。
- 必ず電源が切れた状態でプロトコルを変更してください。
- 出荷の時に設定されたプロトコルは Pelco-D、2400 bps です。
- Pelco-Cと Hikvision-C プロトコルを使う場合、DVRで該当のプロトコルを支援するのかどうかを確認してください。

□ 終端抵抗の設定



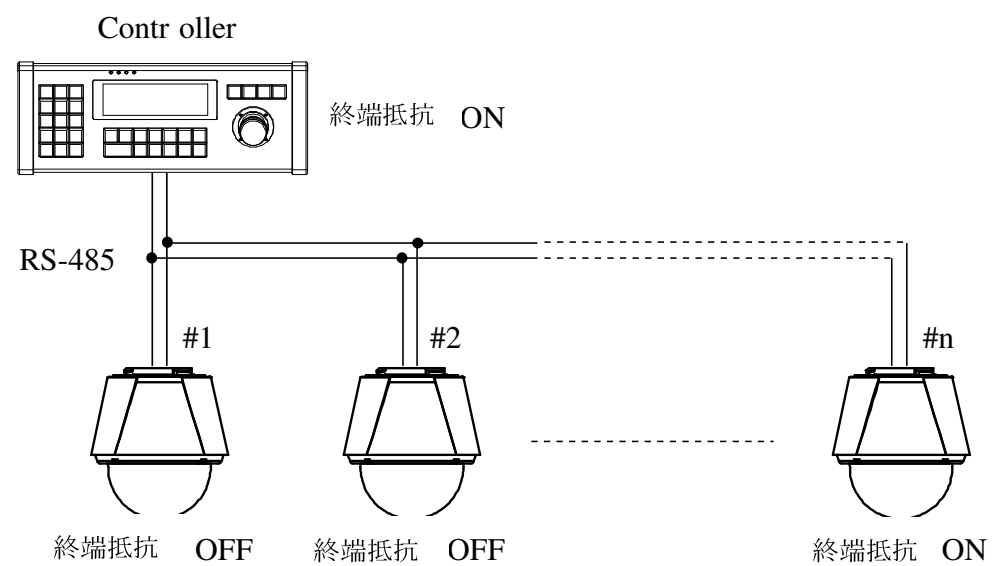
終端抵抗は次のような場合に使います。

● 制御器とカメラの通信結線がとても長い場合 (1:1 連結)

制御器とカメラの間の距離がとても長い場合、通信線路のインピーダンスの問題によって通信障害が発生する場合があります。この場合に制御器とカメラ両方とも終端抵抗をONに設定してお使いください。

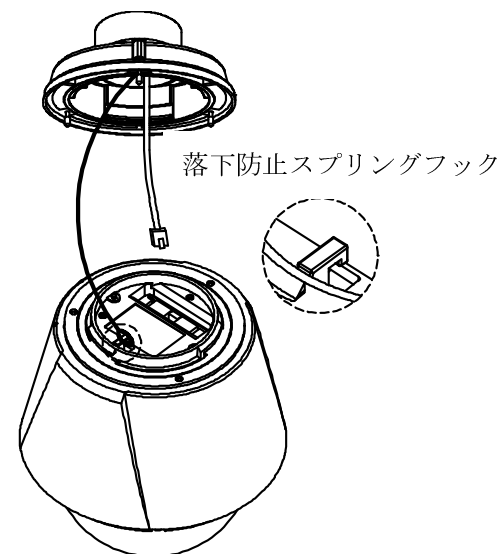
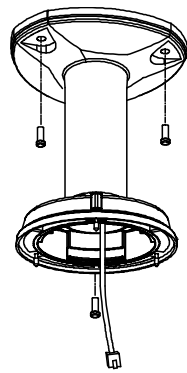
● 複数のカメラを同時に連結して使う場合、

複数のカメラを同時に一つの制御器に連結した時にも通信障害が発生する場合があります。この場合には制御器の終端抵抗をONに設定して、カメラの中で一番最後に位置したカメラ1台の終端抵抗のみONに設定してください。絶対にすべてのカメラの終端抵抗をONに設定しないでください。

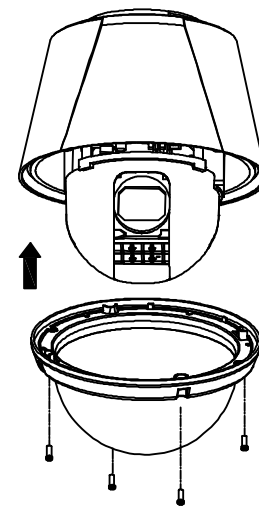
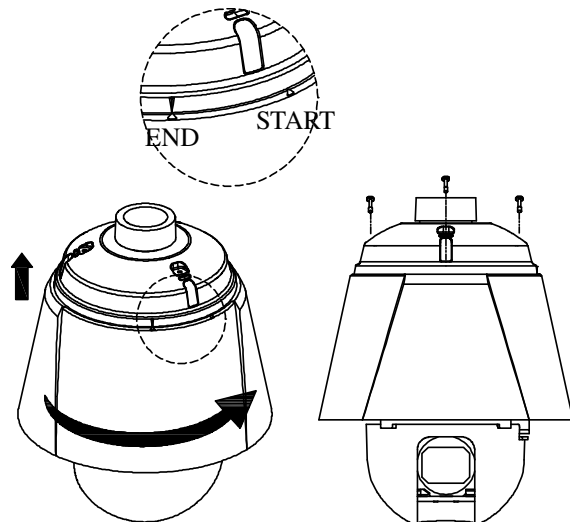


天井取り付け型ブラケットを利用した設置 (Outdoorタイプモデル)

- ① 天井取り付け型ブラケットを天井に組立てた後、アダプダを回して入れます。(Anchor Bolt 3/8" (70))
- ② 本体が落ちるのを防止するために落下防止スプリングを本体にかけてから結線用ケーブルをさします。



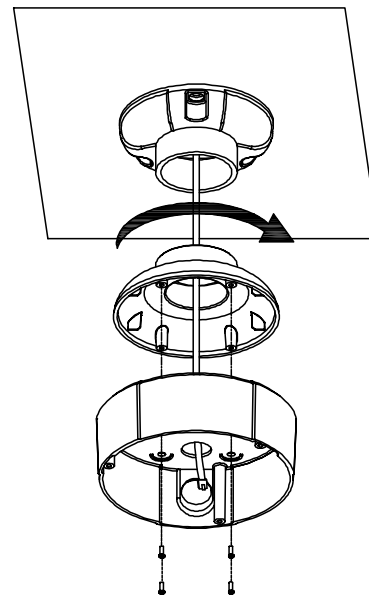
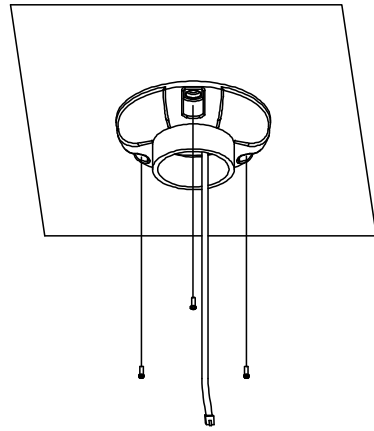
- ③ ブラケットと本体に表示されているラインに合わせて本体を挿して回した後、ねじを締結します。ねじが緩くなった場合には防水に問題が起きる可能性があるので気を付けてください。(TORX SCREW M4 (18))
- ④ ドームカバーを組立てます。



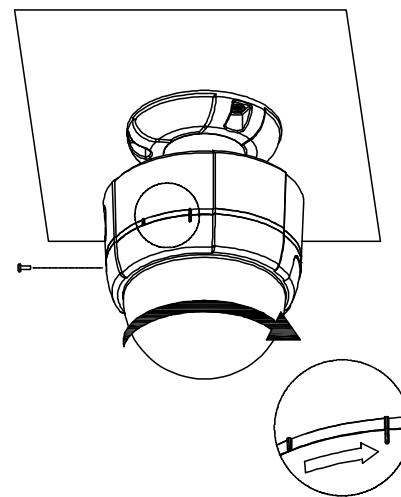
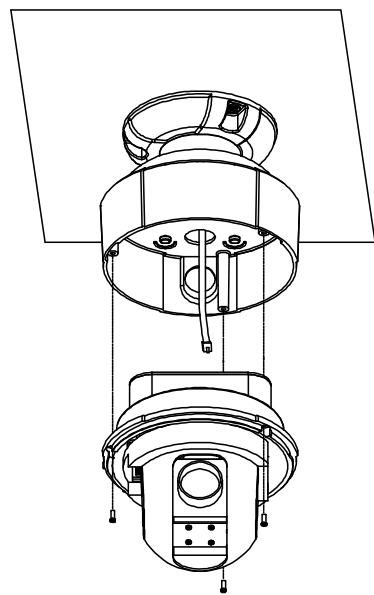
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。
- 製品の設置の高さを変更するためにはブラケットと本体の間ニパイプ及びカフラを使わなければなりません。このための部品は提供されていません。

天井取り付け型ブラケットを利用した設置 (Indoorタイプモデル)

- ① 結線ケーブルを抜いた後、天井取り付け型ブラケットを装着してください。
(Tapping M4(25))
- ② マウントアダプダを天井取り付け型ブラケットに回して入れた後、表面取り付け型ブラケットを組立てます。
(Machine M3(8))



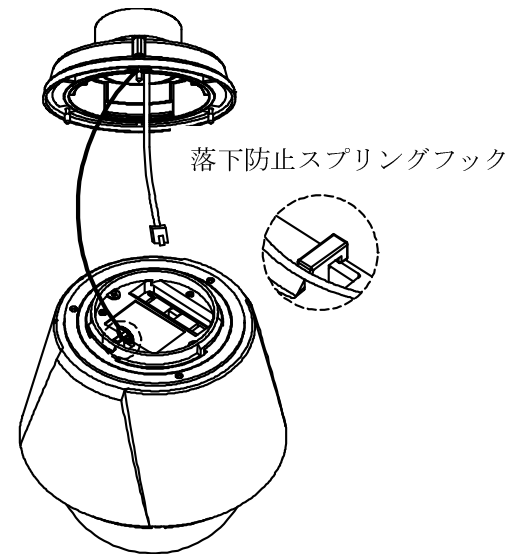
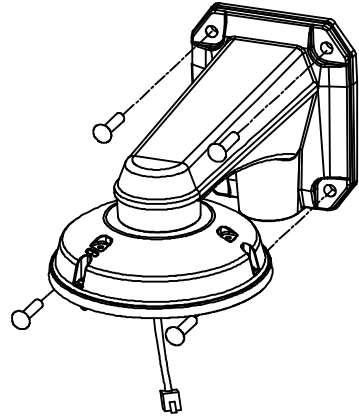
- ③ 結線ケーブルをコネクタにさした後、本体と天井取り付け型ブラケットを装着してください。
(Machine M3(8))
- ④ ドームカバー締結基準線に合わせてドームカバーを組立てます。ドームカバー固定ねじを締結した後、ドームカバー保護用ビニールを取り除きます。
(Machine M3(6))



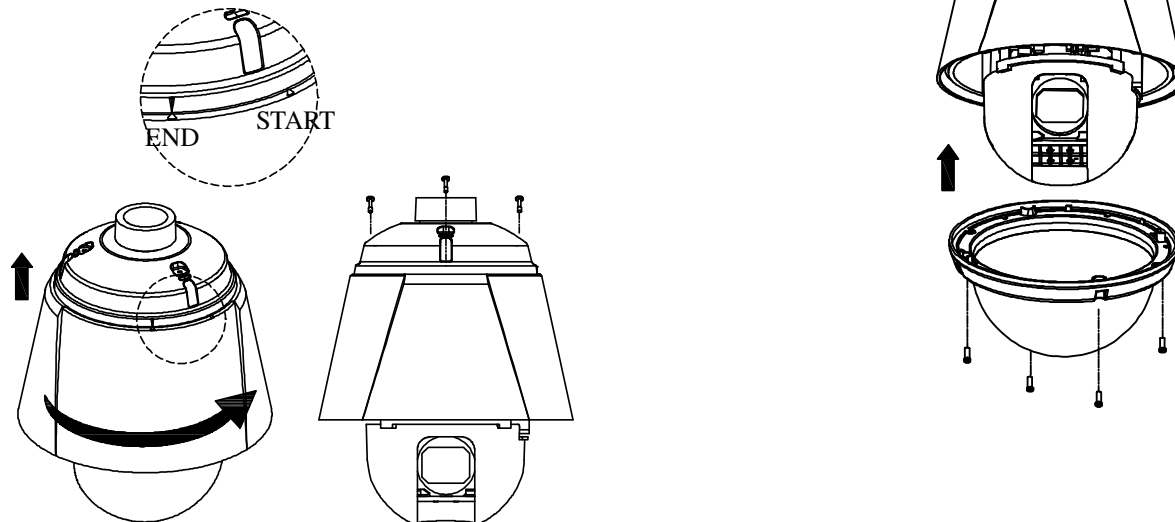
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。
- 表面取り付け型ブラケットの側面配線用ホールは使わないので提供された Hole Plugを利用して閉まってください。
- 製品の設置の高さを変更するためには天井取り付け型ブラケットとマウントアダプダの間コパイプ及びカフラを使わなければなりません。このための部品は提供されません。

壁面取り付け型ブラケットを利用した設置 (Outdoorタイプモデル)

- ① 壁面取り付け型ブラケットを組立てた後アダプタを回して入れます。(六角頭 #14(50))
- ② 本体が落ちるのを防止するために落下防止スプリングを本体にかけて結線用ケーブルをさします。



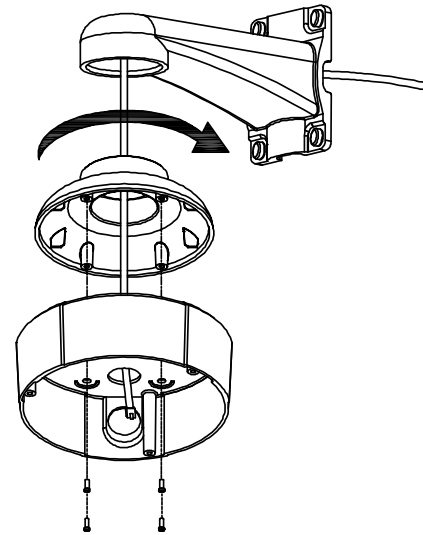
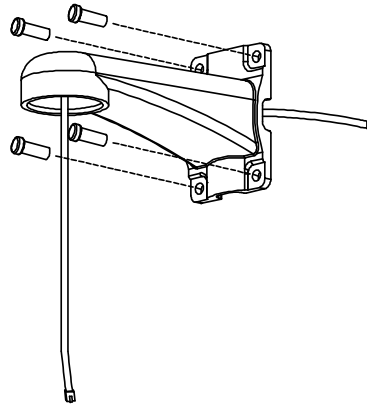
- ③ ブラケットと本体に表示されているラインに合わせて本体を入れて回した後、ねじを締結します。ねじが緩くなった場合に防水に問題が起きる可能性があるので気を付けてください。(TORX SCREW M4(18))
- ④ ドームカバーを組立てます。



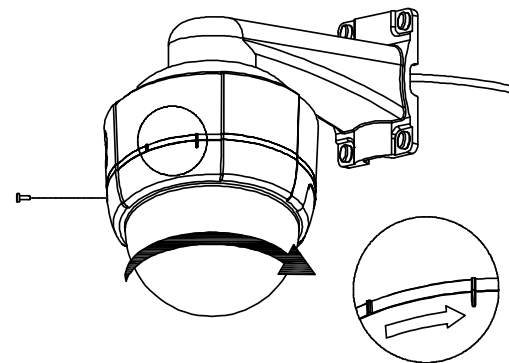
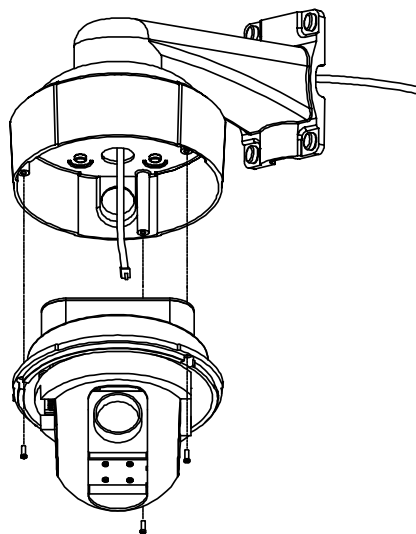
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。

壁面取り付け型ブラケットを利用した設置 (Indoorタイプモデル)

- ① 結線ケーブルを抜いた後、壁面取り付け型ブラケットを装着してください。(六角頭 #14 (50))
- ② マウントアダプタを壁面取り付け型ブラケットに回して入れた後、表面取り付け型ブラケットを組立てます。(Machine M3 (8))



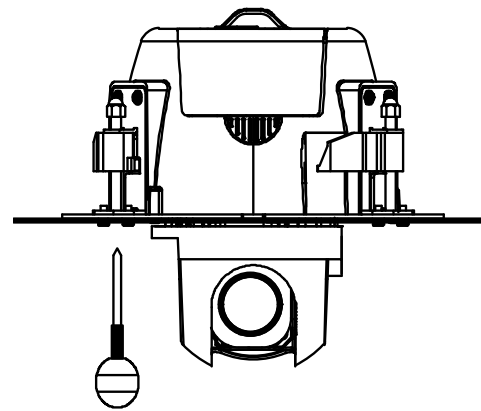
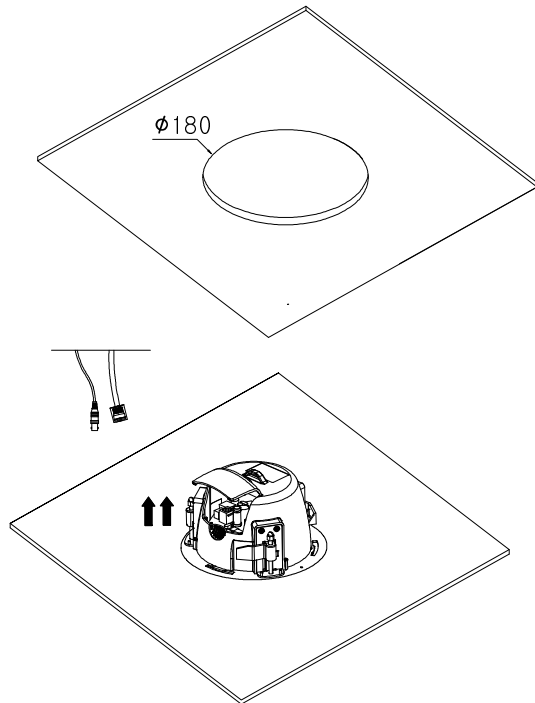
- ③ 結線ケーブルをコネクタにさした後、本体と壁面取り付け型ブラケットを装着してください。(Machine M3 (8))
- ④ ドームカバー締結基準線に合わせてドームカバーを組立てます。ドームカバー固定ねじを締結した後、ドームカバー保護用ビニールをとり除きます。(Machine M3 (6))



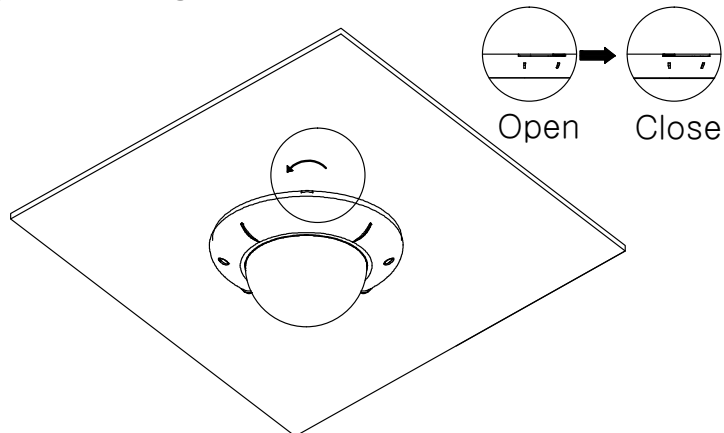
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。
- 表面取り付け型ブラケットの側面配線用ホールは使わないので提供された Hole Plugを利用して閉めてください。

In-Ceiling 用ブラケットを利用した設置 (Outdoorタイプモデル)

- ① 天井に 180mm の原型の穴をくぐって、製品のふたを開けてケーブルを連結します。
- ② ブラケットを天井に締結して、Guide Hook ねじを締めて製品を天井に密着させます。



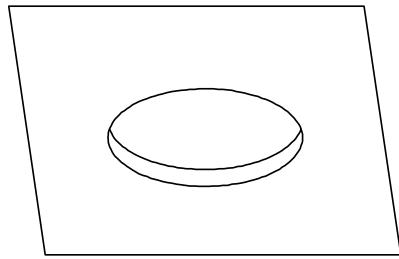
- ③ Deco-Ringを絵のように回して設置します。



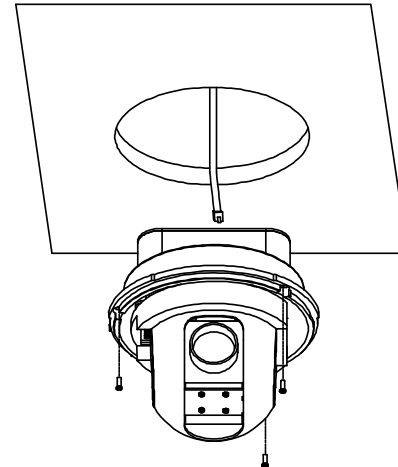
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。

天井埋め込み型の設置 (Indoorタイプモデル)

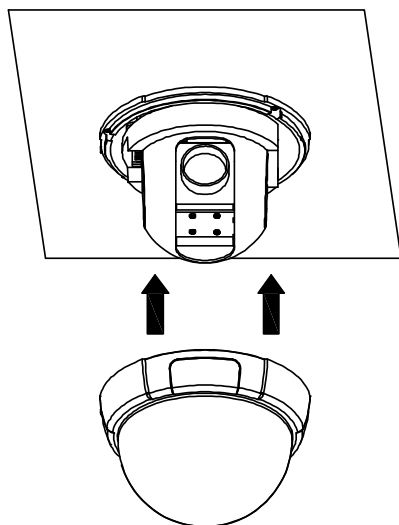
- ① 天井に直径 110 mmの穴をくぐります。



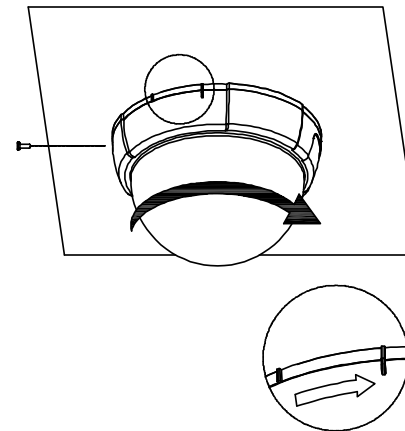
- ② 結線ケーブルを抜いた後、本体を天井に固定します。(Tapping M4(16))



- ③ ドームカバーを締結基準線に合わせてドームカバーを組立てます。



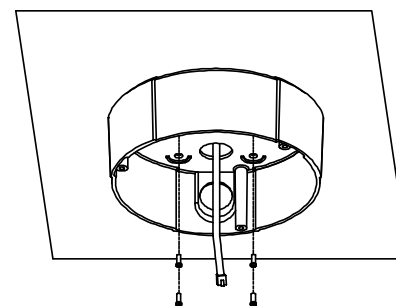
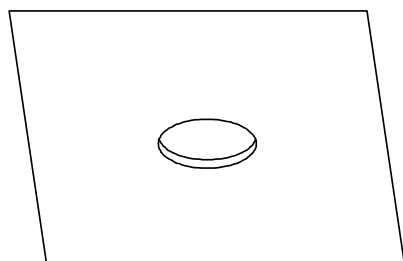
- ④ ドームカバー固定ねじを締結した後、ドームカバー保護用ビニールを取り除きます。(Machine M3(6))



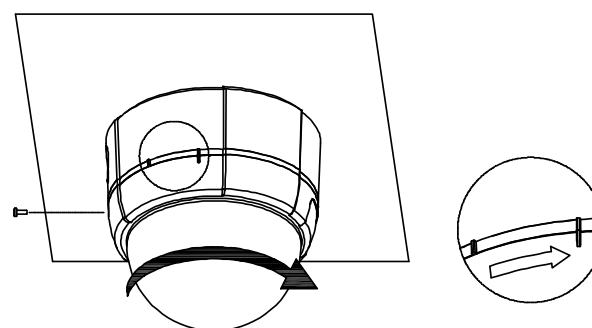
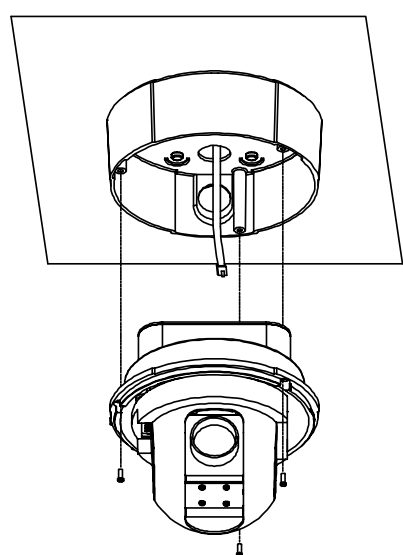
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。

表面取り付け型ブラケットを利用した設置 (Indoorタイプモデル)

- ① 製品の裏面から結線を抜き出す場合には天井に 30~40mm 程度の穴をくぐります。
- ② 結線ケーブルを引き抜いた後、表面取り付け型ブラケットを装着してください。(Tapping M4(25))



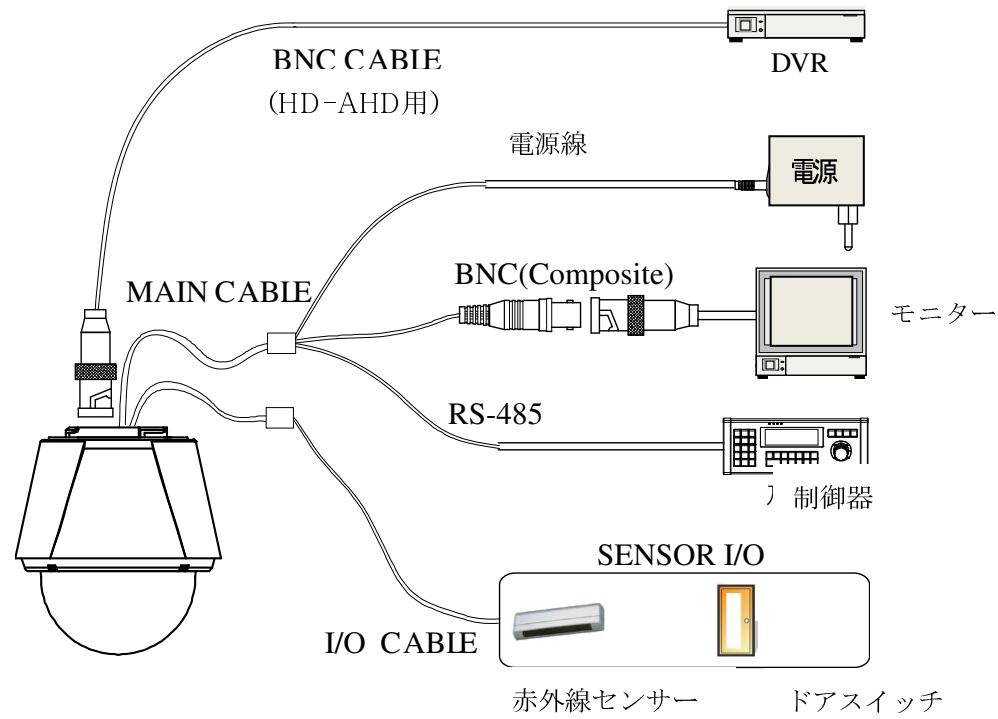
- ③ 結線ケーブルをコネクタにさした後、本体と表面取り付け型ブラケットを装着してください。(Machine M3(8))
- ④ ドームカバー締結基準線に合わせてドームカバーを組立てます。ドームカバー固定ねじを締結した後、ドームカバー保護用ビニールを取り除きます。(Machine M3(6))



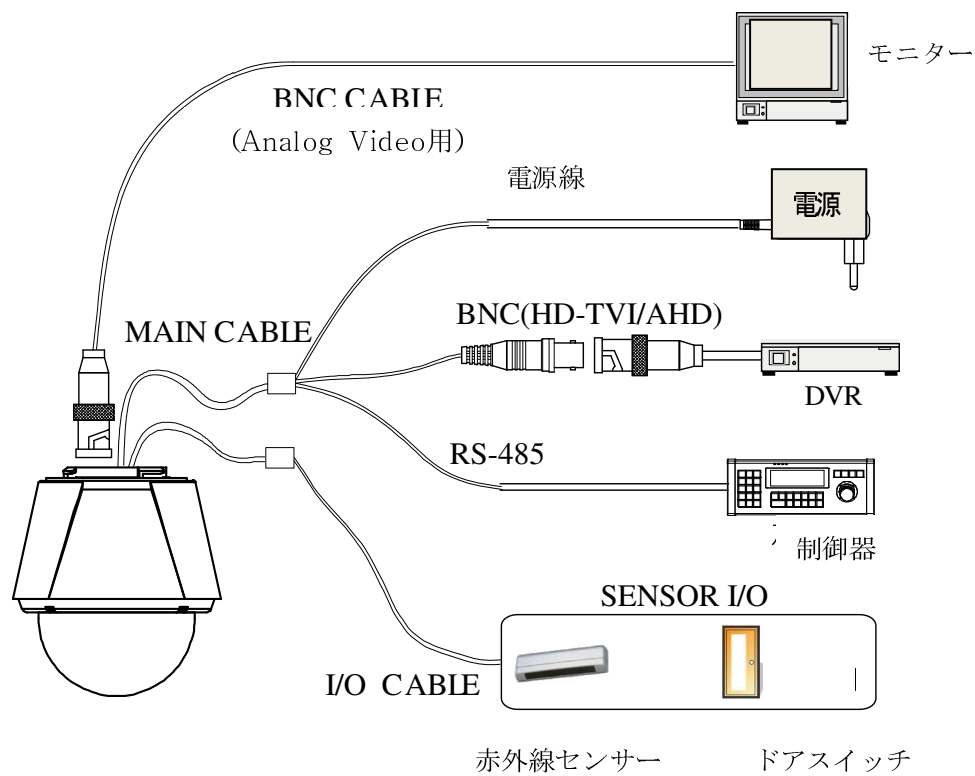
- 設置前にカメラの ID、プロトコルなどを設定してください。
- 使わない配線用ホールは提供された Hole Plug を利用して閉めてください。

結線

● Outdoorタイプモデル



● Indoorタイプモデル



□ ケーブルの色別の信号

● Main Cable

コネクタ側のピン番号	ケーブル	信号
1	BNC コネクタ	Video +
2、4		Video -
5	Red	RS-485 +
3	Yellow	RS-485 -
7	Orange	Power +
6、8	White	Power -

● I/O Cable

コネクタ側のピン番号	ケーブル	信号
1	Blue	IN COM +
2	Yellow	IN 1 -
3	Green	IN 2 -
4	Red	IN 3 -
5	Black	OUT A
6	White	OUT B

□ 電源

- 本製品の定格電源は次の通りです。

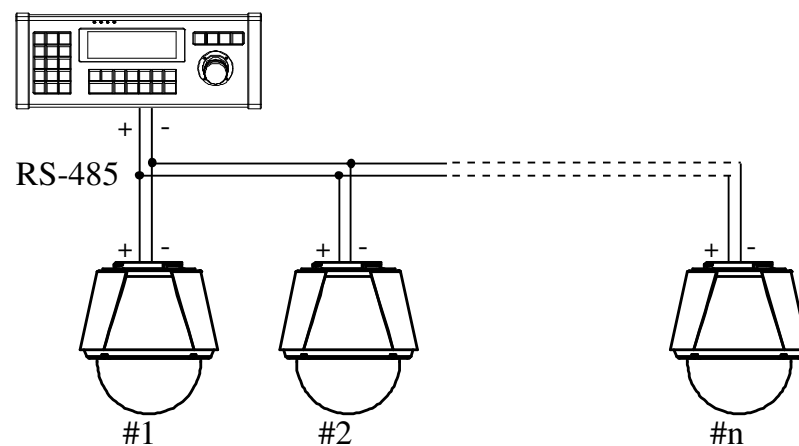
モデル		電圧の範囲	消費電流
DC12V 印加の時	F/H 未装着	DC 11V ~ 18V	1.0 A
	F/H 装着		1.8 A
AC24V 印加の時	F/H 未装着	AC 17V ~ 29V	0.8 A
	F/H 装着		1.8 A

- DC 電源の場合、極性が誤った状態で電源を印加すれば製品が破損される可能性があります。電源の極性に特に留意して結線してください。
- DC 電源の結線が長すぎる場合には電圧降下によって製品が動作しない場合があるので DC 電源の結線の長さをできるだけ短く配線してください。

□ RS-485 通信

- PTZ 制御命令を指令するキーボード制御器や、DVR などを連結してください。複数のカメラを同時に制御する場合、RS-485 通信線を並列に連結してお使いください。

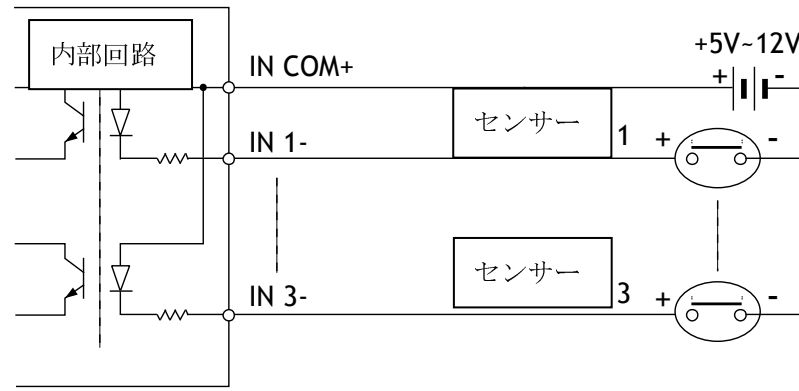
キーボード制御器 / DVR



□ AHD 映像出力

- 出力信号の規格に合わせて DVR を連結してください。特に AHD モデルの場合、1080p 映像を入力することができる AHD2.0 規格の DVR を使わなければなりません。
- 5C-HFBT ケーブルの場合、最大で約 500メートルまで伝送することができるが、同軸ケーブルや繋がれた DVR の種類によっては伝送距離が変わる場合があります。また、伝送距離が長くなるほど映像の解像度や色感が落ちる可能性があります。

□ センサー入力



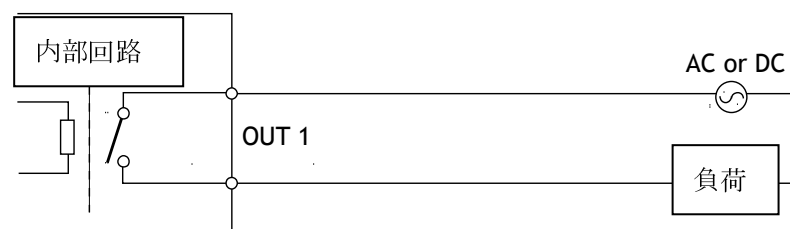
センサーを結線する前にセンサーの駆動電圧と、センサーの信号出力方式をチェックしてください。センサーの信号出力方式は大きく区分して Open Collector 方式と Voltage Output 方式があるので、それぞれの場合に相応しいように結線しなければなりません。

信号線	機能
IN COM+	入力回路を駆動する電源です。センサーを駆動する電源の (+) 極性を連結してください。
IN1 -, IN2 -, IN3 -	センサーの出力信号を連結してください。

センサーを使うためには OSD メニューからセンサーのタイプを設定してください。センサータイプは大きく区分して Normal Openと Normal Closeに区分することができます。センサー入力タイプを間違えて設定した場合、センサー入力に対して反対に動作します。

● Normal Open	センサーが動作する時に電圧が出力される方式
● Normal Close	センサーが動作しない時に電圧が出力される方式

□ リレー出力



最大に連結できる負荷の用量は次の通りです。

負荷側の電源	DC 電源	AC 電源
最大用量	Max DC 24V、1A	Max AC125V、0.5A

設置の確認

- 電源を印加する前に結線に異常がないのか確認してください。
- 運転しようとするカメラの IDを確認した後、制御器で正しいカメラ番号を選択してください。カメラ IDは画面または DIP スイッチで確認することができます。
- 制御器がさまざまなプロトコルを支援する場合、カメラに設定されたプロトコルと一致させてください。
- カメラプロトコルを変更する場合、電源を切った状態で行ってください。
- 制御器と係わる機能は制御器によって使用方法が一部異なる場合がありますので、正常動作できない場合、制御器の使用方法を参照してください。本マニュアル上の使用方法は Pelco 標準プロトコル制御器に基準したものです。

Preset 及び Pattern 機能の確認

- 本カメラの主な機能を使うためにはまずコントローラーや DVRで Presetと Pattern 機能を実行する方法を確認してください。
- 参考に Pelco 標準プロトコルコントローラーでは次の方法を使います。

< Go Preset >	[Preset No] を入力した後 [Preset] ボタンを短く押します。
< Set Preset >	[Preset No] を入力した後 [Preset] ボタンを 2秒以上長く押します。
< Run Pattern >	[Pattern No] を入力した後 [Pattern] ボタンを短く押します。
< Set Pattern >	[Pattern No] を入力した後 [Pattern] ボタンを 2秒以上長く押します。

- Pattern 機能がないコントローラーや DVRを使う場合でも製品のすべての機能を使うことができます。マニュアルから該当の機能部分を参照してください。

OSD メニュー選択

- 機能 カメラの OSD メニュー機能を使って映像を設定するとか、Preset、Pattern、Swing、Group などのような PTZ 動作たちを設定することができます。
- 設定方法 Go Preset [95]

特殊機能のプリセット

- 説明 一部のプリセット番号は次のような特殊機能を行います。
- 機能

Go Preset [95]	: OSD メニューを選択
Go Preset [131~138]	: パターン 1~8を実行
Go Preset [141~150]	: スイング 1~10を実行
Go Preset [151~158]	: グループ 1~8を実行
Go Preset [161]	: リレー出力を OFFにする
Set Preset [161]	: リレー出力を ONにする
Go Preset [167]	: Zoom 倍率によって Jog 運転速度を連動
Set Preset [167]	: Zoom 倍率によって Jog 運転速度を連動しない
Go Preset [170]	: Camera BLC/WDRを OFF に設定
Go Preset [171]	: Camera BLC/WDRを ON に設定
Go Preset [174]	: Camera Focusを AUTOに設定
Go Preset [175]	: Camera Focusを MANUALに設定
Go Preset [176]	: Camera Focusを SEMI-AUTOに設定
Go Preset [177]	: Camera Day&Night モードを AUTOに設定
Go Preset [178]	: Camera Day&Night モードを NIGHTに設定
Go Preset [179]	: Camera Day&Night モードを DAYに設定
Go Preset [190]	: OSD 表示を全部 AUTOに設定 (Privacy Mask 除外)
Go Preset [191]	: OSD 表示を全部 OFFに設定 (Privacy Mask 除外)
Go Preset [192]	: OSD 表示を全部 ONに設定 (Privacy Mask 除外)
Go Preset [193]	: Privacy Mask 表示を全部 OFFに設定
Go Preset [194]	: Privacy Mask 表示を全部 ONに設定

プリセット

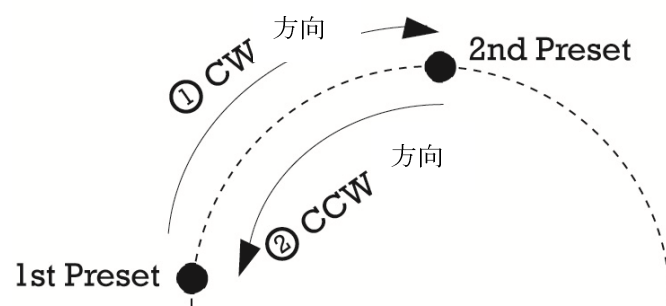
- 機能

プリセット 1~255番の中で特殊機能のプリセットを除いた 209個は一般のプリセット位置に指定することができます。それぞれのプリセットごとにカメラ映像の設定、ラベルを別に設定することができます。制御器を利用してプリセット位置を直接指定する時には、ラベルは Blankに、映像設定は Global モードに自動設定されるので各設定値たちを変更しようとする時は OSD メニューを利用してください。OSD メニューの中でもプリセット位置を指定することができます。
- プリセットの設定 Set Preset [1~255]
- プリセットの実行 Go Preset [1~255]
- プリセットの削除 OSD メニューを利用して削除してください。

スイング

- 機能

スイング動作は 2個のプリセット位置を往復運転する機能です。スイング運転を行えばまず一番目のプリセットから二番目のプリセット位置に CW(Clock-Wise)方向に運転して、以後、反対に二番目のプリセット位置から一番目のプリセット位置に CCW(Count-Clock-Wise)方向に運転します。



もし一番目のプリセットと二番目のプリセットを同じプリセットで設定すれば 360° 回転を繰り返します。

運転速度は 1° /秒 ~180° /秒 の範囲で設定することができます。

- スイングの設定 OSD メニューを利用して設定してください。
- スイングの実行

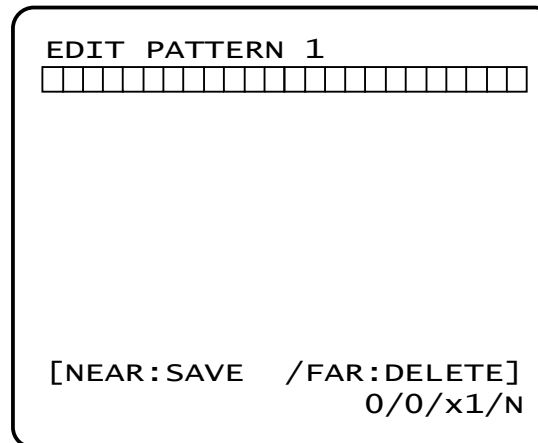
方法 1) Run Pattern [スイング番号+10]	ex) スイング 3番	実行 : Run Pattern [13]
方法 2) Go Preset [スイング番号+140]	ex) スイング 3番	実行 : Go Preset [143]
- スイングの削除 OSD メニューを利用して削除してください。

パターン

- 機能 パターン動作は一定期間の間に実行したジョグ運転及びプリセット運転形態をそのまま保存して再実行する機能です。最大 8個のパターンを記録することができるし、パターン当たり最大 880個の通信命令を保存することができます。
- パターンの設定 パターンの設定は次の二つの方法が全部設定できます。

方法 1) Set Pattern [パターン番号]

- 次のような設定画面が表示されます。



- Joystickを利用してジョグ運転及びプリセット運転を実行すればパターンに保存されます。
- 残った保存空間が Bar 形態に表示されます。
- 途中で保存を終了しようとするれば NEAR キーを、取り消そうとするれば FAR キーを押してください。

方法 2) OSD メニューの中で同一に設定することができます。メニュー機能を参照してください。

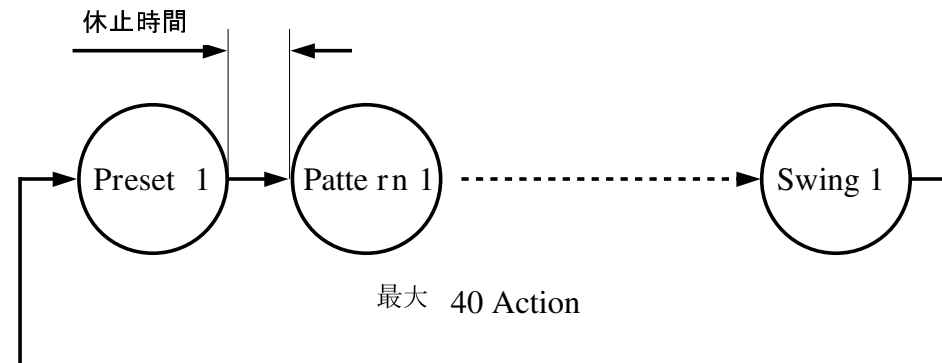
- パターンの実行 方法 1) Run Pattern [パターン番号] ex) パターン 2番 実行 : Run Pattern [2]
 方法 2) Go Preset [パターン番号+130] ex) パターン 2番 実行 : Go Preset [132]
- パターンの削除 OSD メニューを利用して削除してください。

注) パターンを保存する時、Pan/Tilt/Zoomの位置の値を保存するのではなく命令語が印加される時間を保存します。このために保存するパターンの内容によって設定時の運転と再生時の運転が少し異なる場合があります。これは製品の位置精密度に異常が生じたことではありません。

グループ

● 機能

グループ機能はプリセット、パターン、スイング機能を組み合わせて繰り返して行う機能です。最大 8個のグループを指定することができるし、各グループは最大 40個の Action(プリセット、パターンまたはスイング)を設定することができます。グループから設定したプリセットは運転速度を指定することができるし、パターン及びスイングは繰り返し回数を指定することができます。また各 Actionを実行した後、運転を停止する休止時間を設定することができます。



●グループの設定 OSD メニューを利用して設定してください。

●グループの実行 方法 1) Run Pattern [グループ番号+20] ex) グループ 7番 実行 : Run Pattern [27]
 方法 2) Go Preset [グループ番号+150] ex) グループ 7番 実行 : Go Preset [157]

●グループの削除 OSD メニューを利用して削除してください。

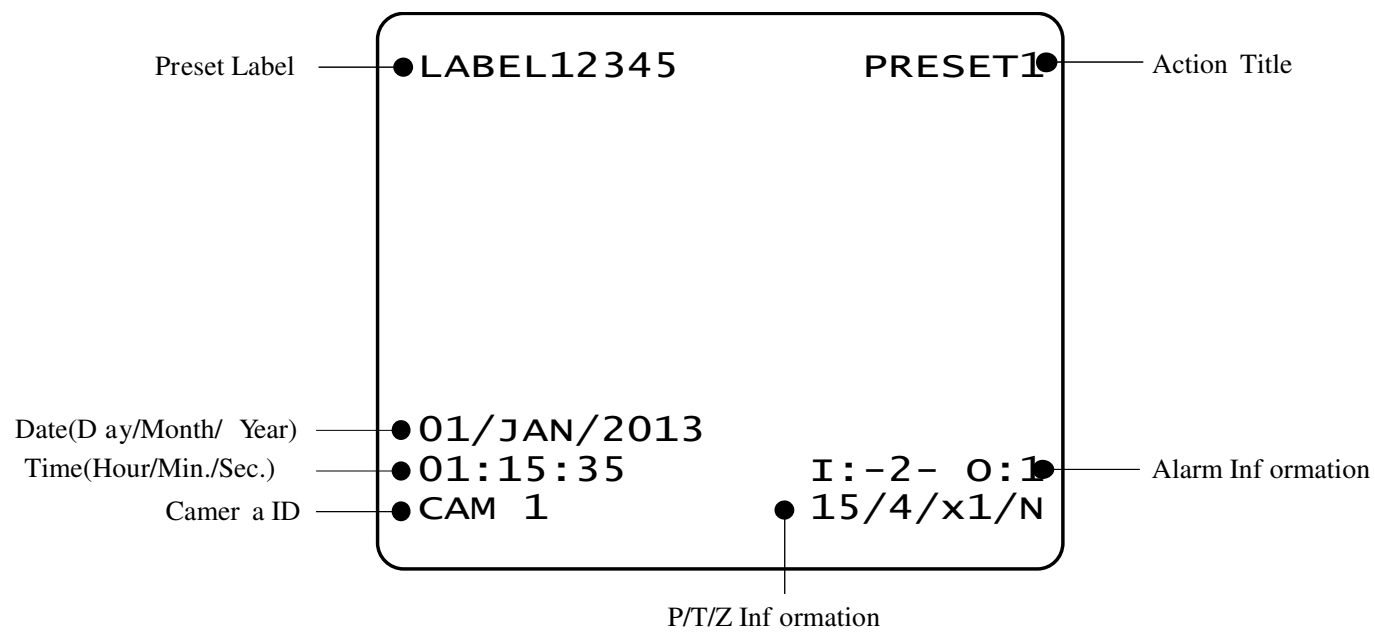
その他の主な機能

- Power Up Action カメラに電源を印加すると電源が切れる前に実行した動作を再び実行する機能です。プリセット、パターン、スイング、グループ動作だけ再実行されてジョグ運転動作はこの機能から除かれます。
- Auto Flip Tilt 運転が 90° を超えた場合、自動に Pan の位置が 180° 回転する機能です。
- Parking Action 一定時間の間にカメラを運転しない場合、指定した動作を自動に行う機能です。“Wait Time”は 1秒 ~ 3時間の値で設定することができます。
- Alarm Input 3個のアラーム入力を利用することができます。アラーム入力の時、行う動作を指定することができるし、この後に一定時間が経過すれば指定した“Post Alarm”動作が再実行されます。また、いくつかのアラーム入力が入力されれば一番最後に入力された信号にだけ応じます。
- Schedule 特定時間に行う動作を指定することができるし、この後に一定時間が経過すれば指定した“Post Action”動作が実行されます。繰り返し実行の周期を時/日/週/月別に設定することが可能です。
- Privacy Zone Mask 任意の位置を映像から Mask 処理する機能です。最大 8個の位置を設定することができます。曲面座標を利用して高性能の Mask 機能を活用することができます。
- Password 設定 OSD Menuを実行する時、Passwordを設定することができます。Passwordを忘れた場合には OSD Menuを実行することができないので気を付けてください。
- GLOBAL/LOCAL Image Setup プリセットごとに WB(White Balance) 及び AE(Auto Exposure) 設定を独立的に指定することができるように“Global”モードと“Local”モードが支援されます。“ZOOM CAMERA SETUP”メニューで指定した WB/AE 設定値が“Global”モードの設定値で、各プリセット設定メニューで指定した WB/AE 設定値が“Local”モードの設定値です。
Local モードで指定した WB/AE 設定値は該当のプリセット運転の時に自動的に適用されて、ジョグ運転等でプリセット運転が解除すれば自動的に Global 設定に変更されます。
プリセット設定で指定した Local モードの設定値は Global モードの設定値が変わってもそのまま維持されます。

- SemiAuto Focus

Manual Focusと Auto Focus モードを自動的に切り替えるモードです。Preset 運転の時には Manual Focusが適用されて、その他のジョグ運転等では Auto Focusに自動転換されます。Preset 設定の時に決まった Focus の値が固定されるので、プリセット運転の時にはより早い Focus 性能を持つことができるし、ジョグ運転転換の時にはより便利に使うことができます。

メイン画面 OSD の構成



- P/T/Z Information 現在の Pan/Tilt/Zoom/方位位置を表示します。
- Camera ID カメラの IDを表示します。
- Action Title 次は Action Titleで表示される情報です。
 - “SET PRESET xxx” プリセット位置を設定する場合
 - “PRESET xxx” プリセット位置に移動する場合
 - “PATTERN x” パターン運転を行った場合
 - “SWGx/PRESET xxx” スイングが動作中の場合、スイング番号とプリセット番号を表示
 - “UNDEFINED” 設定されていない運転を選択した場合
- Preset Label プリセット運転の時、プリセットに設定された Labelを表示します。
- Alarm Information センサー入力とリレー出力の状態を表示します。該当の入出力が ONになった場合には該当の数字が表示されて OFFの場合には '-' が表示されます。
例題) 入力 2、3が ON になって、出力が ONになった場合

I:-23 O:1

メニューの使い方

- ()の中に表記されたメニューには下位メニューがあります。
- 下位メニューへの移動は NEAR キーを押してください。
- メニュー項目で FAR キーを押せば以前のメニューに移動します。
- メニューの内部で項目間にカーソルを移動するためにはジョイ・スティックの Up/Down または Left/Rightを利用してください。
- 設定値を変更するためにはジョイ・スティックの Up/Downを利用してください。
- 変更した設定値を保存するためには NEAR キーを、取り消す時には FAR キーを利用してください。

メインメニュー

```
SPEED DOME SETUP
-----
-><SYSTEM INFORMATION>
<DISPLAY SETUP>
<CLOCK SETUP>
<DOME CAMERA SETUP>

<PASSWORD SETUP>
<SYSTEM INITIALIZE>

EXIT
```

- System Information 製品関連の情報及び設定状態を表示します。
- Display Setup メイン画面の OSD 表示の可否を各項目別に設定します。
- Clock Setup 現在の時間を設定して、日付と時間に対する表示の可否を設定します。
- Dome Camera Setup 製品の様々な機能を設定します。
- Password Setup OSD 実行に対する Passwordと使用の可否を設定します。
- System Initialize 製品の設定値を出荷状態に初期化するかシステムを再起動します。

メイン画面の OSD 表示の設定

```
DISPLAY SETUP
-----
->CAMERA ID          ON
PTZ INFORMATION     AUTO
ACTION TITLE        AUTO
PRESET LABEL         AUTO
ALARM I/O           AUTO
LANGUAGE             ENG
<SET NORTH DIRECTION>
<PRIVACY ZONE>
BACK
EXIT
```

メイン画面の表示の可否を各項目別に設定します。AUTOに設定した場合には各情報が変更される時にだけ表示します。

- Camera ID [ON/OFF]
- PTZ Information [ON/OFF/AUTO]
- Action Title [ON/OFF/AUTO]
- Preset Label [ON/OFF/AUTO]
- Alarm I/O [ON/OFF/AUTO]
- Language [ENG/POL/FRN/ITL]

OSD 言語を選択します。英語/ポーランド語/フランス語/イタリア語を選択することができます。

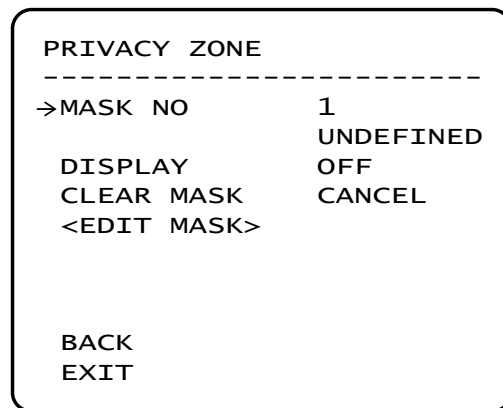
□ 方位位置の初期化

```
SET NORTH DIRECTION
-----

MOVE TO TARGET POSITION
[NEAR:SAVE /FAR:CANCEL]
```

方位表示のために北の方向を指定します。願う PAN の位置に移動した後、NEARを押して保存します。

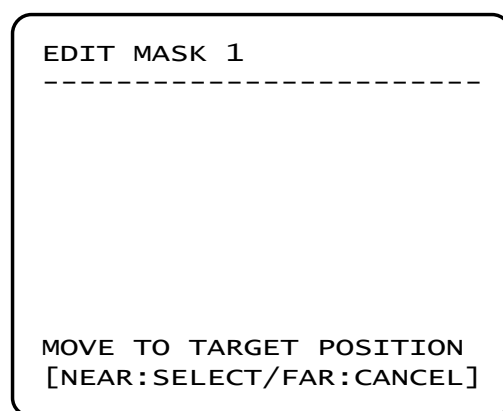
PRIVACY ZONE MASK の設定



願う領域を映像から Mask 処理するように設定します。

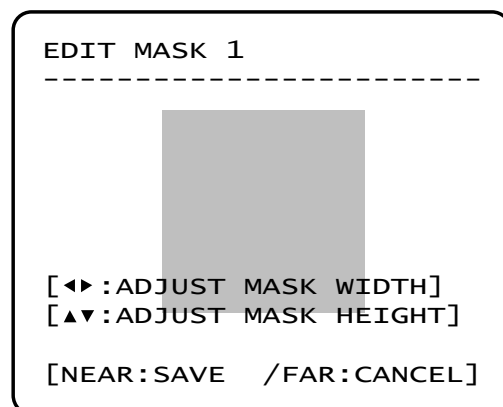
- Mask No [1~8]
指定しようとする Mask 番号を選択します。もう Mask が指定されている場合にはその位置に移動するようになって、空いている場合には Mask No の下に "UNDEFINED" が表示されます。
- Display [ON/OFF]
選択した番号の Mask を表示するかどうかを設定します。
- Clear Mask [CANCEL/OK]
選択した番号の Mask を削除します。

□ Privacy Zone 位置の設定



Mask をしようとする位置に移動します。位置を設定すれば Mask の大きさを調節するメニューが表示されます。

□ Privacy Zone 大きさ調節



Mask の大きさを調節します。ジョグを上下、左右に移動すれば大きさが調節されます。

- ◀ ▶ (Left/Right) Mask の幅を調節します。
- ▲ ▼ (Up/Down) Mask の高さを調節します。

CLOCK の設定

```
CLOCK SETUP
-----
->DISPLAY DATE      ON
   DISPLAY TIME    ON
   SET CLOCK
     •01/JAN/2013 TUE
     •00:01:02 [hh:mm:ss]

BACK
EXIT
```

現在の時間を設定するとか、OSDに時間表示の可否を設定します。

- Display Date [ON/OFF]
OSDに日付表示の可否を設定します。
- Display Time [ON/OFF]
OSDに時間表示の可否を設定します。
- Set Clock
現在の日付(日/月/年)と時間(時/分/秒)を設定します。曜日は日付に合うように自動に変更されます。

カメラモジュールの設定

```

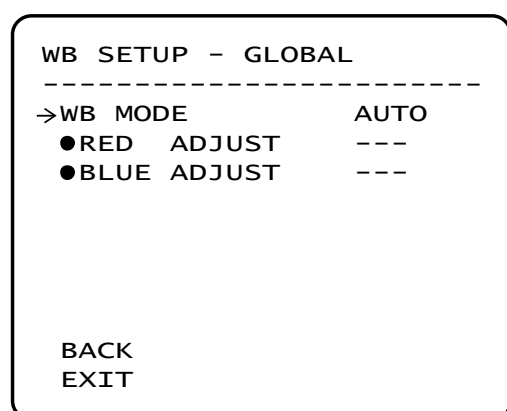
CAMERA SETUP
-----
->HD VIDEO OUT  1080p30
   FOCUS MODE   SEMIAUTO
   DIGITAL ZOOM  ON
   FLICKERLESS  OFF
   IMAGE FLIP    OFF
   <WHITE BALANCE SETUP>
   <AUTO EXPOSURE SETUP>
   <SPECIAL>
   BACK
   EXIT

```

カメラのズームモジュールと係わる設定を行います。

- HD Video Out [1080p30/720p60/720p30] または [1080p25/720p50/720p25]
AHDの映像出力の解像度を設定します。DVRの解像度と一致するように設定してください。Nearキーを押して変更値を承認しなければ10秒後に元々の設定値に復帰されます。10W、20W、30Wのモデルにだけ支援されます。
- Video Out [AHD/Analog]
AHD出力または Analog 出力を設定します。10X、20X、30X モデルでは両出力が同時に出力されません。
- Focus Mode [AUTO/MANUAL/SEMIAUTO]
カメラの Focus モードを設定します。SemiAutoモードはプリセット運転の時にだけ Manual Focusに動作して、その他のジョグ運転等では Auto Focusに自動転換されるモードです。
- Digital Zoom [ON/OFF]
デジタルズーム領域を使うかどうかを選択します。
- Flickerless [ON/OFF]
NTSC カメラを 50Hz 電源で使うとか、PALカメラを 60Hz 電源で使う場合、モニター上に Flicker (画面振れ)現象が発生します。この場合にだけ Flickerless 設定を Onにしてください。電源周波数とカメラの同期周波数が違う時に生じる Flicker 現象を防止します。
- Image Flip [ON/OFF]
映像を常に Flip させます。カメラを Desktop 形態に設置した場合に Onに設定してください。

□ White Balance の設定



- WB Mode [AUTO/INDOOR/OUTDOOR/MANUAL]
Manual モードでは Red、Blue レベルを直接指定することができます。
- Red Adjust [0~20]
- Blue Adjust [0~20]

□ Auto Exposure の設定

```

AE SETUP-GLOBAL
-----
->DAY/NIGHT      AUTO
  BACKLIGHT      OFF
  WDR             OFF
  AE MODE        AUTO
  ●IRIS          ---
  ●AGC           ---
  ●SHUTTER       ---
  ●BRIGHT        10
  BACK
  EXIT

```

- Day/Night [AUTO/DAY/NIGHT]
Day&Night モードを設定します。
- Backlight [ON/OFF]
逆光補正機能を設定します。
- WDR [ON/OFF]
WDR (Wide Dynamic Range) 機能を設定します。
映像に暗すぎる部分と明るい部分が共存した場合に、明るい部分は暗く、暗い部分は明るく補正して、事物をより明確に認識することができるようにします。この機能が ONになれば Analog 映像は出力されません。
- AE Mode [AUTO/SHUTTER/IRIS/MANUAL]
自動露出モードを選択します。各モードによって設定可能な値たちが表示されます。
- Iris [0~16/OPEN] または [CLOSE/5~16/OPEN]
AE モードが、Iris モードか、Manual モードの時、設定可能です。
- AGC [0dB ~ 60dB] または [0dB ~ 45dB]
AE モードが Manual モードの時、設定可能です。
- Shutter [x32~1/30000] または [1/8~1/30000] または [1/6~1/30000]
AE モードが Shutter モードか、Manual モードの時、設定可能です。
- BRIGHT [0~14] または [0~20]
映像の明るさの程度を設定します。AE モードが Manual モードの場合には設定が不可能です。

□ Special 設定

```
SPECIAL
-----
->AUTO DSS          ON
NIGHT>DAY LEVEL    10
APERTURE           6
NR                 3
STABILIZATION      OFF
HLC                OFF
DEFOG              OFF
  ●LEVEL           ---
BACK
EXIT
```

- Auto DSS [ON/OFF]
Slow Shutter 設定方法を選択します。
- Night > Day Level [0 ~ 28]
夜間モードから昼間モードに切り替える感度を調節することができます。
- Aperture [0 ~ 10]
事物のアウトラインに対する鮮明度を調節します。
- NR [OFF/1~5] または [AUTO/OFF/1~3]
よりきれいな映像のために画面のノイズをとり除きます。
- Stabilization [ON/OFF]
カメラの振れを補正します。Digital Zoom 機能を利用して補正するのでこの機能が ON になった場合にはカメラの解像度が減ります。
- HLC [ON/OFF]
HLC(High Light Compensation)機能は特定の環境で明るい過ぎる光が照らす部分をマスキングする機能です。
- Defog [ON/OFF]
霧補正機能と Levelを設定します。

モーションの設定

```

MOTION SETUP
-----
->MOTION LOCK      OFF
  PWR UP ACTION    ON
  AUTO FLIP        ON
  JOG MAX SPEED    120/SEC
  JOG DIRECTION    INVERSE
  FRZ IN PRESET    OFF
  <PARKING ACTION SETUP>
  <ALARM INPUT SETUP>
  BACK
  EXIT
  
```

モーションと係わる一般機能を設定します。

- Motion Lock [ON/OFF]
Motion Lockを ONに設定すれば、一般運転の状況でプリセット、スイング、パターン、グループのような機能を消すとか新規に設定することができず、専ら実行だけができます。OSD メニュー内では該当されません。
- Power Up Action [ON/OFF]
“その他の主な機能”部分を参照してください。
- Auto Flip [ON/OFF]
“その他の主な機能”部分を参照してください。
- Jog Max Speed [1° /秒 ~360° /秒]
ジョグの最大運転速度を指定します。ジョグの運転速度はズーム倍率に連動されるのでズーム倍率が大きくなるほど速度が減少します。
- Jog Direction [INVERSE/NORMAL]
Inverseに設定した場合、ジョグの方向と画面移動の方向が同じになって、Normalに設定した場合、ジョグの方向と画面移動の方向が反対になります。
- Freeze in Preset [ON/OFF]
プリセット運転の時、移動の前に映像を停止させて、移動の後に映像を復旧します。

□ Parking Action の設定

PARKING ACTION SETUP		

→PARK ENABLE	OFF	
WAIT TIME	00:10:00	
PARK ACTION	HOME	
BACK		
EXIT		

設定された“Wait Time”の間にカメラを運転しない場合、指定した運転を自動に行う機能です。

- Park Enable [ON/OFF]
- Wait Time [1~59秒/1~180分]
この時間の中にカメラを運転しない場合、Parking Actionを行います。
- Park Action [HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP/PREV ACTION]
“HOME”設定の時、初期原点に移動するようになって、“PREV. ACTION”設定の時、最も最近に行った動作を再び行います。

□ アラーム運転の設定

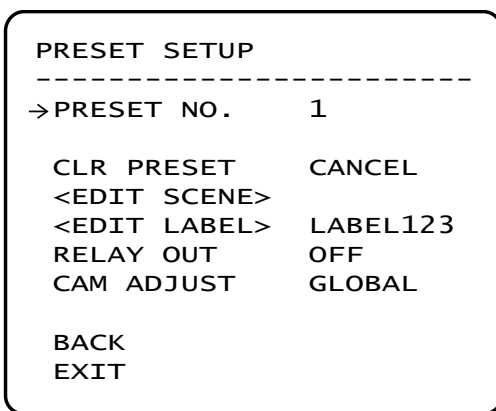
ALARM INPUT SETUP		

→ALARM NO.	1	
TYPE	N.OPEN	
ACTION	NOT USED	
HOLD TIME	ENDLESS	
POST ACTION	HOME	
BACK		
EXIT		

アラームが入力された場合、実行する動作を設定します。

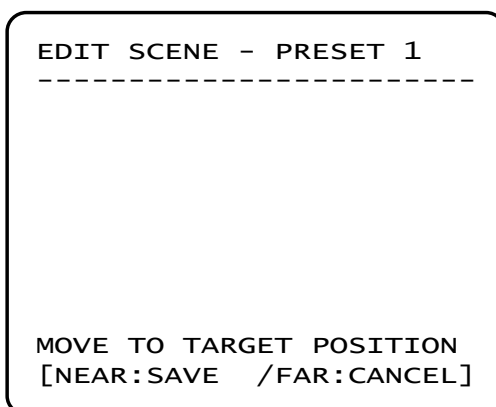
- Alarm No [1~3]
設定しようとするセンサーの番号を選択します。
- Type [Normal OPEN/Normal CLOSE]
該当の入力センサーの動作方式を設定します。
- Action [NOT USED/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP]
センサー入力の時、実行する動作を指定します。
- Hold Time [ENDLESS/1~59秒/1~180分]
センサー動作を実行する時間を指定します。この時間が経過すれば Post Actionで指定した動作が実行されます。“Endless”に設定した場合、Post Actionは動作しません。
- Post Action [HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP/PREV ACTION]
Hold Timeが経過した後、実行する動作を指定します。“PREV. ACTION”設定の時、最も最近に実行した動作を再び行います。

プリセットの設定



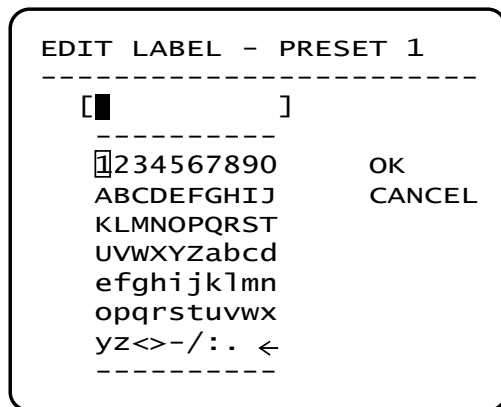
- Preset Number [1~255] ただ、特殊技能のプリセットは除外。設定しようとするプリセット番号を選択します。もう定義されているプリセット番号を選択すればプリセット移動を行って Label、CAM Adjustのようなプリセット設定値たちを表示します。選択したプリセットが定義されていない場合には Preset 番号の下に “UNDEFINED”が表示されます。
- Clear Preset [CANCEL/OK] 現在プリセットのすべての設定を削除します。
- Edit Preset Scene 下位メニューでプリセットの位置を指定します。
- Edit Preset Label プリセット移動の時、画面に表示する Labelを指定します。Labelは最大 10文字まで入力することができます。
- Relay Out リレー出力を設定します。
- CAM Adjust [GLOBAL/LOCAL] プリセットごとに White Balance 設定及び AE 設定を独立的に行うことができます。“Global”は “ZOOM CAMERA SETUP” メニューで設定された値をそのまま使うという意味で、“Local”は該当のプリセットにだけ適用される WB/AE 設定を別途に指定するという意味です。“Local”を選択すれば WB/AE 設定のためのメニューが表示されます。

□ プリセット位置の設定

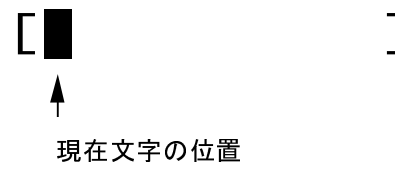


- ① ジョイ・スティックを利用して願う位置にカメラを移動します。
- ② Near キーを押してプリセット位置を保存します。
- ③ プリセット位置を取り消す時には Far キーを押してください。

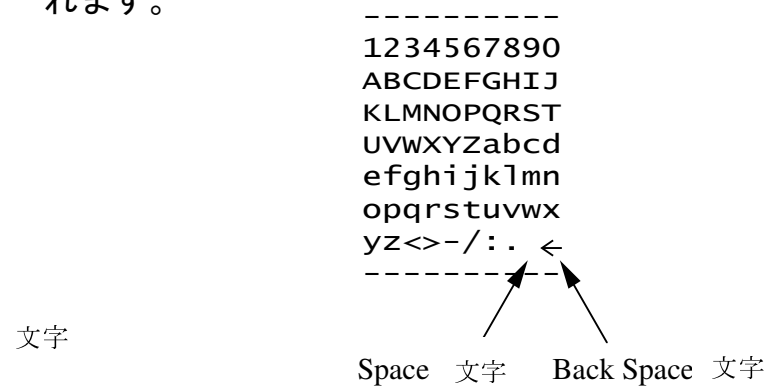
□ プリセットラベルの設定



- ① LABELで反転されて表示される部分が現在のカーソルの位置で、文字を選択すれば右側に位置が移動します。



- ② LABEL 下端の Character Map部分で指定する文字を選択してください。ジョイ・スティックの Left/Right/Up/Downを利用して願う文字の位置に移動した後 Near キーを押せば該当の文字が選択されます。



空欄に設定した時は Space 文字(“ ”)を、現在の文字を消して位置を左側に移動する時は BackSpace 文字(“ ←”)を選択してください。

- ③ Label 設定が完了すれば “OK” 位置にカーソルを移動した後 Near キーを押して保存してください。 “Cancel” を選択すれば保存を取り消します。

スイングの設定

SWING SETUP	

-> SWING NO.	1
1ST POS.	NOT USED
2ND POS.	NOT USED
SWING SPEED	30/SEC
CLEAR SWING	CANCEL
RUN SWING	
BACK	
EXIT	

- Swing Number [1~10]
設定するスイング番号を選択します。選択したスイング番号が設定されていない場合には 1st Positionと 2nd Positionが "NOT USED"に表示されます。
- 1st Position [PRESET 1~255]
2nd Position
スイング運転の二つの位置を設定します。設定されていないプリセット番号を選択した場合に下の絵のように "UNDEFINED"が表示されます。

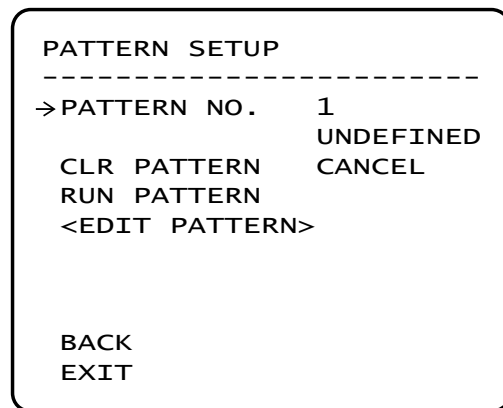
SWING SETUP	

SWING NO.	1
1ST POS.	PRESET5
2ND POS.	NOT USED
	→ UNDEFINED

スイング運転はまず 1st Position (2nd Position に 時計方向 (ClockWise)に移動した後、2nd Position → 1st Position に反時計方向 (Count-ClockWise)に移動します。二つの位置を同じプリセット値に設定するか、一つの位置の値だけ設定した場合にはパン方向に 360° 回転します。

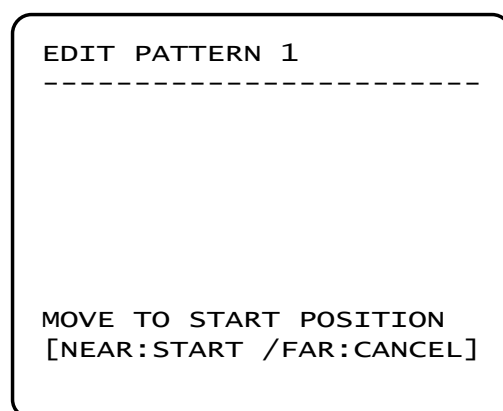
- Swing Speed [1° /秒 ~180° /秒]
スイング運転の時、移動速度を設定します。
- Clear Swing [CANCEL/OK]
現在の Swing 設定値を削除します。
- Run Swing
設定した Swing 動作を試験実行します。

パターンの設定

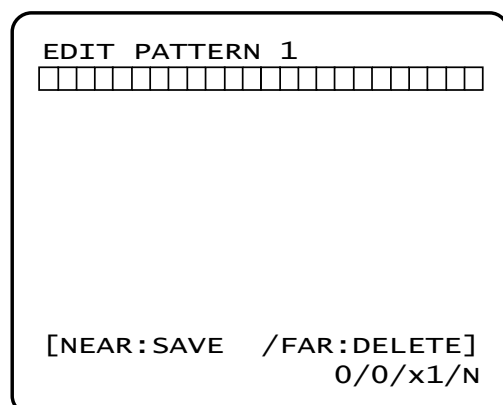


- Pattern Number [1~8]
設定するパターン番号を選択します。
選択したパターンが定義されていない場合にパターン番号の下に“UNDEFINED”が表示されます。
- Clear Pattern [CANCEL/OK]
現在のパターン内容を削除します。
- Run Pattern
設定した Pattern 動作を試験実行します。
- Edit Pattern
パターン編集を開始します。

□ パターンの編集



- ① パターン編集を願う初期位置に移動した後 Near キーを押してパターン設定を開始します。Far キーを押せばパターン設定を取り消します。



- ② ジョグ運転及びプリセット運転を実行すればパターンに保存されます。残った空間が Bar 形態で表示されます。パターン当たり最大 1200余個の命令を保存することができます。
- ③ 保存途中で NEAR キーを押せばその時までのデータを保存して終了します。FAR キーを押せばパターン保存を取り消して、以前のデータも削除します。

グループの設定

```

GROUP SETUP
-----
->GROUP NO.      1
                  UNDEFINED
CLEAR GROUP     CANCEL
RUN GROUP
<EDIT GROUP>

BACK
EXIT
  
```

- Group Number [1~8]
設定するグループ番号を選択します。
選択したグループが定義されていない場合にグループ番号の下に“UNDEFINED”が表示されます。
- Clear Group [CANCEL/OK]
現在のグループ内容を削除します。
- Run Group
設定した Group 動作を試験実行します。
- Edit Group
グループ編集を開始します。

□ グループの編集

```

EDIT GROUP 1
-----
->NO ACTION ### DWELL OPT
-----
1 NONE
2 NONE
3 NONE
4 NONE
5 NONE
-----
SAVE
CANCEL [NEAR:EDIT]
  
```

- ① “No” 項目で Near キーを押せばグループ設定を開始します。

```

EDIT GROUP 1
-----
NO ACTION ### DWELL OPT
-----
-> 1 NONE
   2 NONE
   3 NONE
   4 NONE
   5 NONE
-----
SAVE [NEAR:EDIT ACT]
CANCEL [FAR :EDIT END]
  
```

- ② 1個のグループに 40個の Actionを設定することができます。Up/Downを利用して願う Action 番号に移動した後 NEAR キーを押せば Actionを編集することができます。

```

EDIT GROUP 1
-----
NO ACTION ### DWELL OPT
-----
1 [NONE]
2 NONE
3 NONE
4 NONE
5 NONE
-----
SAVE  [◀▶:MOVE CURSOR]
CANCEL [▲▼:CHANGE VAL.]

```

③ Action 種類と休止時間、Optionの値を設定します。選択された項目は反転表示されます。項目間のカーソルの移動は Left/Rightを利用して、各項目から設定値を変更しようとする時は Up/Downを利用します。

- Action ### [NONE/PRESET/SWING/PATTERN]

- DWELL [0秒~4分]

Action 終了後、休止時間を設定します。

- OPT オプションの値で、プリセットではプリセットの移動速度を意味し、パターン/スイングでは繰り返し回数を意味します。

```

EDIT GROUP 1
-----
NO ACTION ### DWELL OPT
-----
1 PRESET [ ] 00:03 360
2 NONE
3 NONE
4 NONE
5 NONE
-----
SAVE  [◀▶:MOVE CURSOR]
CANCEL [▲▼:CHANGE VAL.]

```

④ 各項目を移動しながら設定値を入力します。

```

EDIT GROUP 1
-----
NO ACTION ### DWELL OPT
-----
→ 1 PRESET 1 00:03 360
2 NONE
3 NONE
4 NONE
5 NONE
-----
SAVE  [NEAR:EDIT ACT]
CANCEL [FAR :EDIT END]

```

⑤ 願う一つの Actionに対して設定が終わって Nearキーを押せば以前の段階である ② 段階に戻ります。Up/Downを利用して他の Action 番号に移動した後 ② ~ ④ 段階を繰り返します。

```

EDIT GROUP 1
-----
NO ACTION ### DWELL OPT
-----
1 PRESET 1 00:03 360
2 NONE
3 NONE
4 NONE
5 NONE
-----
→SAVE
CANCEL

```

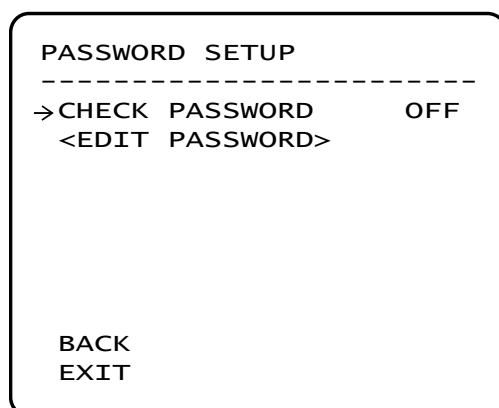
⑥ すべての Actionに対して設定が完了した後 Farキーを押せば "SAVE"項目にカーソルで移動します。Nearを押せば設定内容が保存されます。

スケジュールの設定

```
SCHEDULE SETUP
-----
-> SCHEDULE NO    1
  ACTION          NOT USED
  HOLD TIME       ENDLESS
  POST ACTION     HOME
  CYCLE           ONCE
  TIME
  ●01/JAN/2013 TUE
  ●09:00:00 [hh:mm:ss]
  BACK
  EXIT
```

- Schedule No [1~8]
設定するスケジュール番号を選択します。
- Action [NOT USED/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP]
設定した時間に行う動作を指定します。
- Hold Time [ENDLESS/1~59秒/1~180分]
スケジュール Actionを実行する時間を指定します。この時間が経過すれば Post Actionで指定した動作が実行されます。“Endless”に設定した場合、Post Actionは動作しません。
- Post Action [HOME/PRESET/PATTERN/SWING/GROUP/PREV ACTION]
Hold Timeが経過した後、実行する動作を指定します。“PREV. ACTION”設定の時に最も最近に実行した動作を再び行います。
- Cycle [ONCE/HOUR/DAY/WEEK/MONTH]
スケジュール機能を繰り返し実行する周期を指定します。“ONCE”設定の時には1回だけ実行して繰り返しません。
- Time
スケジュールを実行する日付(日/月/年)と時間(時/分/秒)を設定します。曜日は日付に合うように自動に変更されます。

パスワードの設定



- Check Password

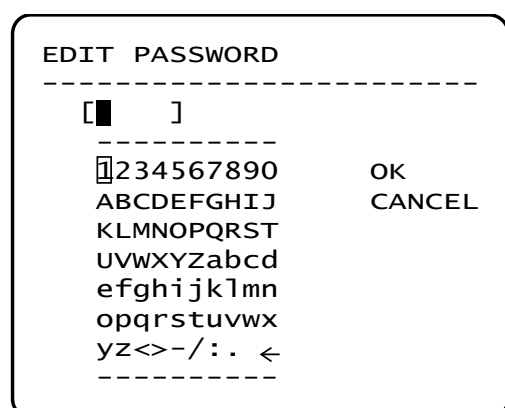
[ON/OFF]

OSD メニューを実行する時、パスワードを確認するかどうかを設定します。

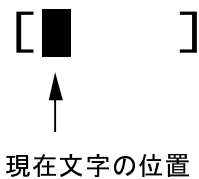


注意：パスワードを使うように設定した状態で、パスワードを忘れた場合には OSD メニューをそれ以上使うことができないので、パスワード設定を変えるとか復旧することができません。パスワード設定の時に気を付けてください。

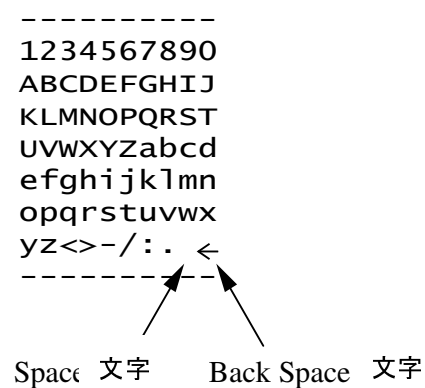
□ パスワードの指定



- ④ パスワードは全部で4文字で指定します。反転されて表示される部分が現在カーソルの位置で、文字を選択すれば右側に位置が移動します。



- ⑤ 下端の Character Mapの部分で指定する文字を選択してください。ジョイスティックの Left/Right/Up/Downを利用して願う文字の位置に移動した後 Near キーを押せば該当の文字が選択されます。



空欄に設定した時は Space 文字(“ ”)を、現在の文字を消して位置を左側に移動する時は BackSpace 文字(“ ←”)を選択してください。

- ⑥ パスワード設定が完了すれば “OK” 位置にカーソルを移動した後、Near キーを押して保存してください。“Cancel”を選択すれば保存を取り消します。

システムの初期化

SYSTEM INITIALIZE	

>CLEAR ALL DATA	NO
●CLR DISPLAY SET	NO
●CLR CAMERA SET	NO
●CLR MOTION SET	NO
●CLR EDIT DATA	NO
REBOOT CAMERA	NO
REBOOT SYSTEM	NO
BACK	
EXIT	

- Clear All Data 下で説明する Displayの設定値、カメラの設定値、モーションの設定値、使用者の編集データの全体が初期化されます。
- Clear Display Set Displayの設定値を初期化します。
- Clear Camera Set カメラの設定値を初期化します。
- Clear Motion Set モーションの設定値を初期化します。
- Clear Edit Data プリセット、スイング、パターン、グループデータを削除します。
- Reboot Camera ズームカメラ部を再起動します。
- Reboot System 本製品を再起動します。

□ 初期設定値

● Display の設定値		● モーションの設定値	
Camera ID	ON	Motion Lock	OFF
PTZ Information	AUTO	Power Up Action	ON
Action Title	AUTO	Auto Flip	ON
Preset Label	AUTO	Jog Max Speed	120° /sec
Alarm I/O	AUTO	Jog Direction	INVERSE
Language	ENG	Freeze In Preset	OFF
North Direction	Pan 0°	Park Action	OFF
Privacy Zone	Undefined	Alarm Action	OFF
Display Date	ON	● 使用者設定データ	
Display Time	ON	Preset 1~255	Preset 1~255
		Swing 1~10	Swing 1~10
		Pattern 1~8	Pattern 1~8
		Group 1~8	Group 1~8
		Schedule 1~8	Schedule 1~8
		Password	OFF / Blank

● カメラの設定値 (10X、20X、30X モデル)

Video Out	AHD 1080p30/p25	AE Mode	AUTO
Focus Mode	SemiAuto	Auto DSS	ON
Digital Zoom	ON	Night > Day Level	14
Flickerless	OFF	Aperture	8
Image Flip	OFF	NR	3
White Balance	AUTO	Stabilization	OFF
Day&Night	AUTO	HLC	OFF
Backlight	OFF	Defog	OFF
WDR	OFF		

● カメラの設定値 (10W、20W、30W モデル)

HD Video Out	1080p30 (p25)	AE Mode	AUTO
Focus Mode	SemiAuto	Auto DSS	ON
Digital Zoom	ON	Night > Day Level	10
Flickerless	OFF	Aperture	6
Image Flip	OFF	NR	3
White Balance	AUTO	Stabilization	OFF
Day&Night	AUTO	HLC	OFF
Backlight	OFF	Defog	OFF
WDR	OFF		

製品の仕様

Camera 部 (10X モデル)	
素子	1/3" Panasonic CMOS センサー
画素数	2,000K pixels
ズームの倍率	X10 Optical Zoom、 X12 Digital Zoom
S/N 比	50dB 以上
焦点距離	F1.6~1.8、 f=5.1~51mm
画角(H)	54° (Wide)~4.9° (Tele)
最低照度	0.5 Lux (Color) / 0.1 Lux (B/W) @ DSS OFF 0.125 Lux (Color) / 0.025 Lux (B/W) @ DSS ON
Day & Night	Auto / Day / Night(ICR)
Focus	Auto / Manual / SemiAuto
AE Mode	Auto / Iris / Shutter / Manual
White Balance	Auto / Indoor / Outdoor / Manual (Red、 Blue Gain Adjustable)
BLC	ON / OFF
WDR	ON / OFF
Defog	ON / OFF
Aperture	Adjustable
NR	OFF / 1~5 Level
Image Stabilization	ON / OFF
Privacy Zone	8個、球面座標系

Camera 部	
素子	1/3" Panasonic CMOS センサー
画素数	2,000K pixels
ズームの倍率	X10 Optical Zoom、 X12 Digital Zoom
S/N 比	50dB 以上
焦点距離	F1.6~1.8、 f=5.1~51mm
画角(H)	54° (Wide)~4.9° (Tele)
最低照度	0.5 Lux (Color) / 0.1 Lux (B/W) @ DSS OFF 0.125 Lux (Color) / 0.025 Lux (B/W) @ DSS ON
Day & Night	Auto / Day / Night(ICR)
Focus	Auto / Manual / SemiAuto
AE Mode	Auto / Iris / Shutter / Manual
White Balance	Auto / Indoor / Outdoor / Manual (Red、 Blue Gain Adjustable)
BLC	ON / OFF
WDR	ON / OFF
Defog	ON / OFF
Aperture	Adjustable
NR	AUTO / OFF / 1~3 Level
Image Stabilization	ON / OFF
Privacy Zone	8個、球面座標系

メカニズム部		
運転 角度	Pan	360° (Endless)
	Tilt	90°
運転 速度	Preset	500° /sec (EC モデル)、360° /sec (その他のモデル)
	Jog	0.05 ~ 360° /sec (ズーム倍率と連動)
	Swing	1 ~ 180° /sec
プリセットの設定		209 プリセット (ラベル設定、個別映像設定)
パターンの設定		8 パターン (パターン当たり 880命令、約 4分)
スイングの設定		10 スイング
グループの設定		8 グループ (40動作/グループ)
スケジュールの設定		8 スケジュール
その他 Pan/Tilt 機能		Auto Flip、Auto Parking、Power Up Action など
映像出力	HD 出力	AHD2.0 1920x1080p30、1280x720p60、1280x720p30 (NTSC) 1920x1080p25、1280x720p50、1280x720p25 (PAL)
	Analog	1Vp-p、WDR ONの時、出力が出ない。 10X、20X、30X モデルでAHD選択の時、Analog 出力が出ない。
Real Time Clock		内蔵、RTC バッテリーバックアップ時間 : 2週
通信		RS-485
プロトコル		Pelco-D、Pelco-P、Pelco-C、Hikvision-C 選択
OSD		4カ国語(英語/ポーランド語/フランス語/イタリア語) メニュー/時間/位置表示など、パスワード管理
センサー入力		3 入力、Photo-Coupler 方式、DC 5V~12V
アラーム出力		1 出力、Relay Output、最大負荷 DC24V 1A / AC125V 0.5A
Fan 動作		常に ON (ECO/EBO/EA0/MB0/MA0 モデル)
Heater 動作		内部温度 10°C 以下で動作 (ECO/EBO/EA0/MB0/MA0 モデル)
動作温度		0°C ~ 40°C (ECI/EBI/EAI/MBI/MAI/MP モデル) -30°C ~ 50°C (ECO/EBO/EA0/MB0/MA0 モデル)
定格電源	Outdoorモデル	DC 12V / 1.8A
	Indoorモデル	DC 12V / 1.0A

器具部 (Outdoorタイプモデル)				
		天井取り付け型	壁面取り付け型	In-Ceiling
材質	Dome	Polycarbonate		
	内部	Polycarbonate、ABS		
	外部	Aluminum	Polycarbonate	
Dome の大きさ		Φ 107.5mm		Φ 125mm
外観の大きさ		Φ 158.2x216 mm	274.5x227.3 mm	Φ 200x192.6 mm
重量		Approx 2.6 Kg	Approx 2.8 Kg	Approx 1.6 Kg
器具部 (Indoorタイプモデル)				
		表面取り付け型	天井取り付け型	壁面取り付け型
材質	Dome	Polycarbonate		
	内部	Polycarbonate、ABS		
	外部	Polycarbonate		
Dome の大きさ		Φ 107.5mm		
外観の大きさ		132.4x129.5 mm	132.4x187.5 mm	213.2x220.5 mm
重量		Approx 0.7 Kg	Approx 0.8 Kg	Approx 0.85 Kg

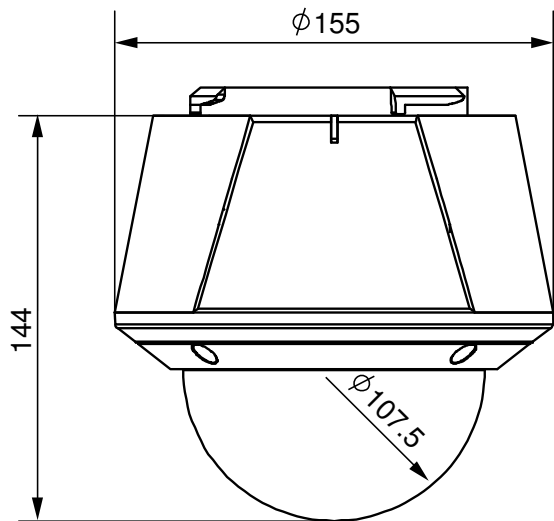
注 1) 一部の機能は事前予告なしに変更される場合があります。

注 2) 一部の機能はモデルによって支援されません。

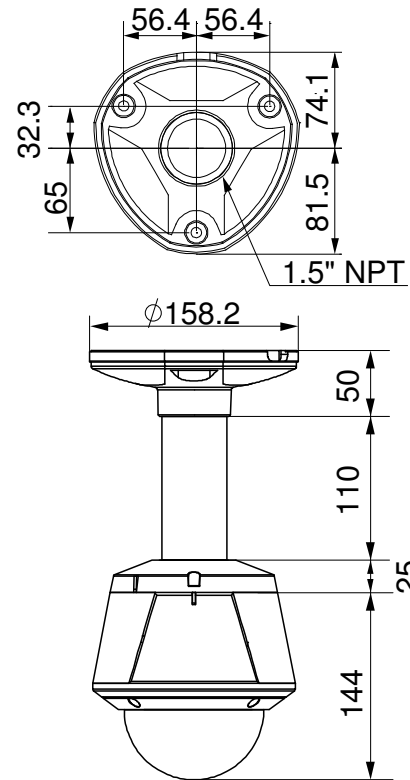
注 3) 設置の前に必ず定格電源を確認してください。

寸法図面 (Outdoorタイプモデル)

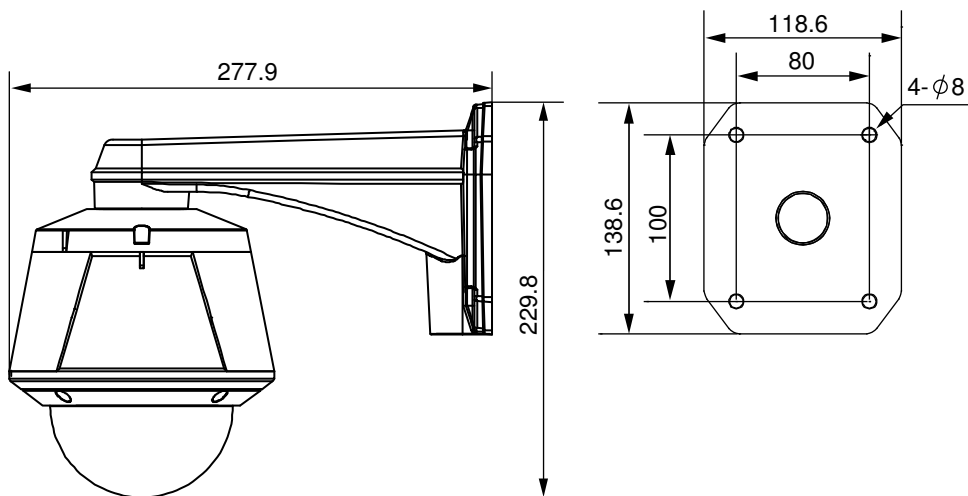
● 本体



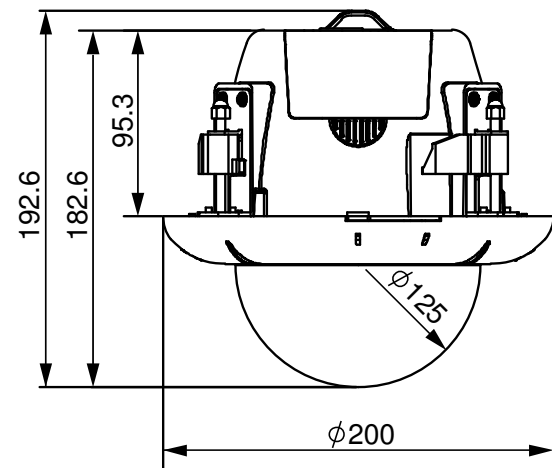
● 天井取り付け型



● 壁面取り付け型



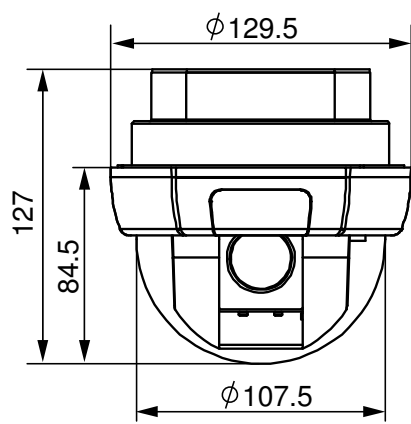
● In-Ceiling



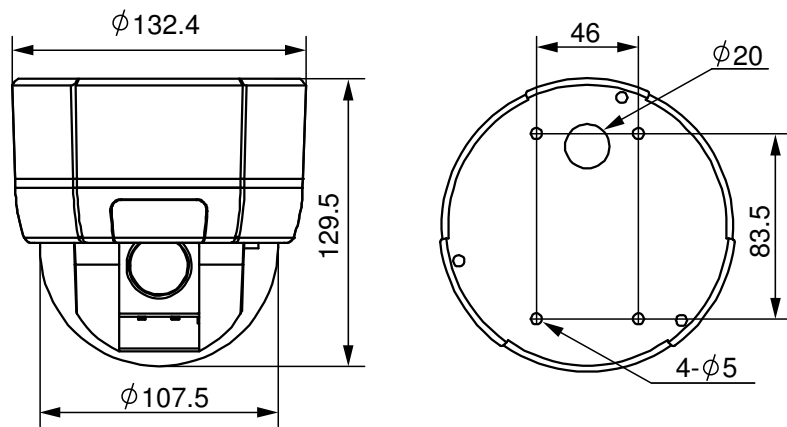
単位 (mm)

寸法図面 (Indoorタイプモデル)

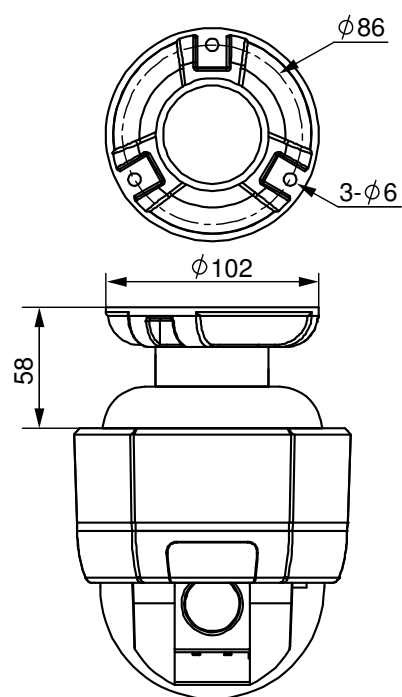
● 本体



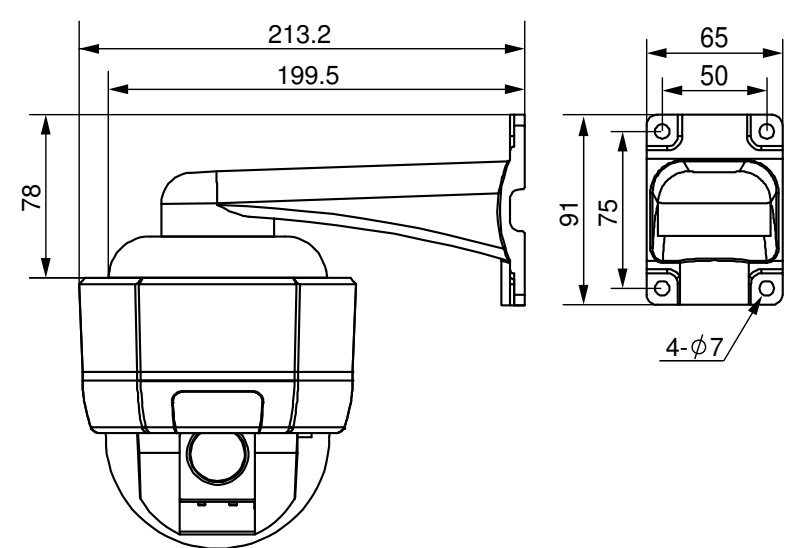
● 表面取り付け型



● 天井取り付け型



● 壁面取り付け型



単位 (mm)



◆ 保証期間：機器保証期間は1年間です。

修理・アフターサービスのご相談は、お買い上げ販売店までお
問合せ下さい。

G-NET CORPORATION

メモ欄